



石川県穴水町のボラ待ち櫓  
2024年3月28日 湯井撮影

令和7年度 群馬県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研修会

福祉×防災×コミュニティ  
みんなで助かるために 今、できること

(一社)福祉防災コミュニティ協会  
理事・福祉防災上級コーチ 湯井恵美子

# 本日の講師

湯井（ぬくい） 恵美子



熊本県植木町生れ

- 兵庫県立大学 博士(学術) 減災復興政策、福祉防災
- 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 客員研究員
- (一社)福祉防災コミュニティ協会 理事 兼 福祉防災上級コーチ
- 平成25年、26年 大阪府立支援学校PTA協議会会長、顧問
- 大阪府立支援学校PTA協議会OB会 防災担当
- 大阪府教育庁 学校防災アドバイザー(平成28年度より)
- 防災士No.079000
- (一社)マンション防災協会MALCA マンション防災認定管理者
- おおさか災害支援ネットワークOSN世話役(大阪府防災士会)
- DMW総合研究所代表、NPO法人災害救援レスキューアシスト 理事、等

# 令和6年 能登半島地震 亡くなった人の死因

2024年1月1日 16時10分頃 M7.6  
地震、津波による死者228名 合計684人  
うち災害関連死456名（令和7年11月10日現在）

## R6年1月30日時点で亡くなった人の原因（暫定値）

※その他の市町村：穴水町・能登町・七尾市・羽咋市・志賀町

死因	輪島市	珠洲市	その他	計
圧死	32	40	20	92
窒息・呼吸不全	20	25	4	49
低体温症・凍死	15	15	2	32
外傷性ショックなど	12	13	3	28
焼死	3	0	0	3
その他	4	2	0	6
不詳	12	0	0	12
計	98	95	29	222

出典：消防庁、NHK 2024年1月31日16時13分「令和6年能登半島地震」をもとに筆者作成  
【無断複製厳禁】 一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

# 令和6年能登半島地震 特別支援学校の対応

## 石川県立七尾特別支援学校（珠洲・輪島分校）

### 1月26日から本校のみ学校再開、分校は避難所

※学校ホームページ（すみれNews）と  
学校関係者からのヒアリングより

#### 七尾特別支援学校の被災状況

投稿日時：01/10 管理者

- ・児童生徒、職員全員の安否確認済み。大きなけが人などはなし。
- ・電力供給あり。断水が継続している。
- ・建物に大きな損壊なし。建物の安全確認済みである。敷地内のいたる所に地割れや沈下がある。学校裏側の擁壁が崩れ、学校裏側の損傷が大きく1m～3m程度沈下している。
- ・校舎内の復旧作業は終了し、学校機能の回復を図っている。



#### <輪島分校>

- ・児童生徒、職員全員の安否確認済み。大きなけが人等はなし。（1月10日夜、確認完了）
- ・他の児童生徒、職員に大きなけが人等はなし。
- ・施設の一部は避難所として使用。電力会社の支援により電力供給あり。断水が継続している。
- ・建物に大きな損壊なし。敷地内のいたる所に地割れあり。
- ・被災した職員多数のため、校舎内の復旧作業、学校機能の回復が滞っている。



#### <珠洲分校>

- ・児童生徒、職員全員の安否確認済み。大きなけが人等はなし。
- ・施設の一部は避難所として使用。電力会社の支援により10日より電力供給あり。断水が継続している。
- ・教室等の主たる建物の地盤が20～30cm程度沈下している。このため、渡り廊下やエレベーターホール等との接合部が断裂し、隙間ができています。現在、安全確認中。
- ・被災した職員多数のため、校舎内の復旧作業、学校機能の回復が滞っている。



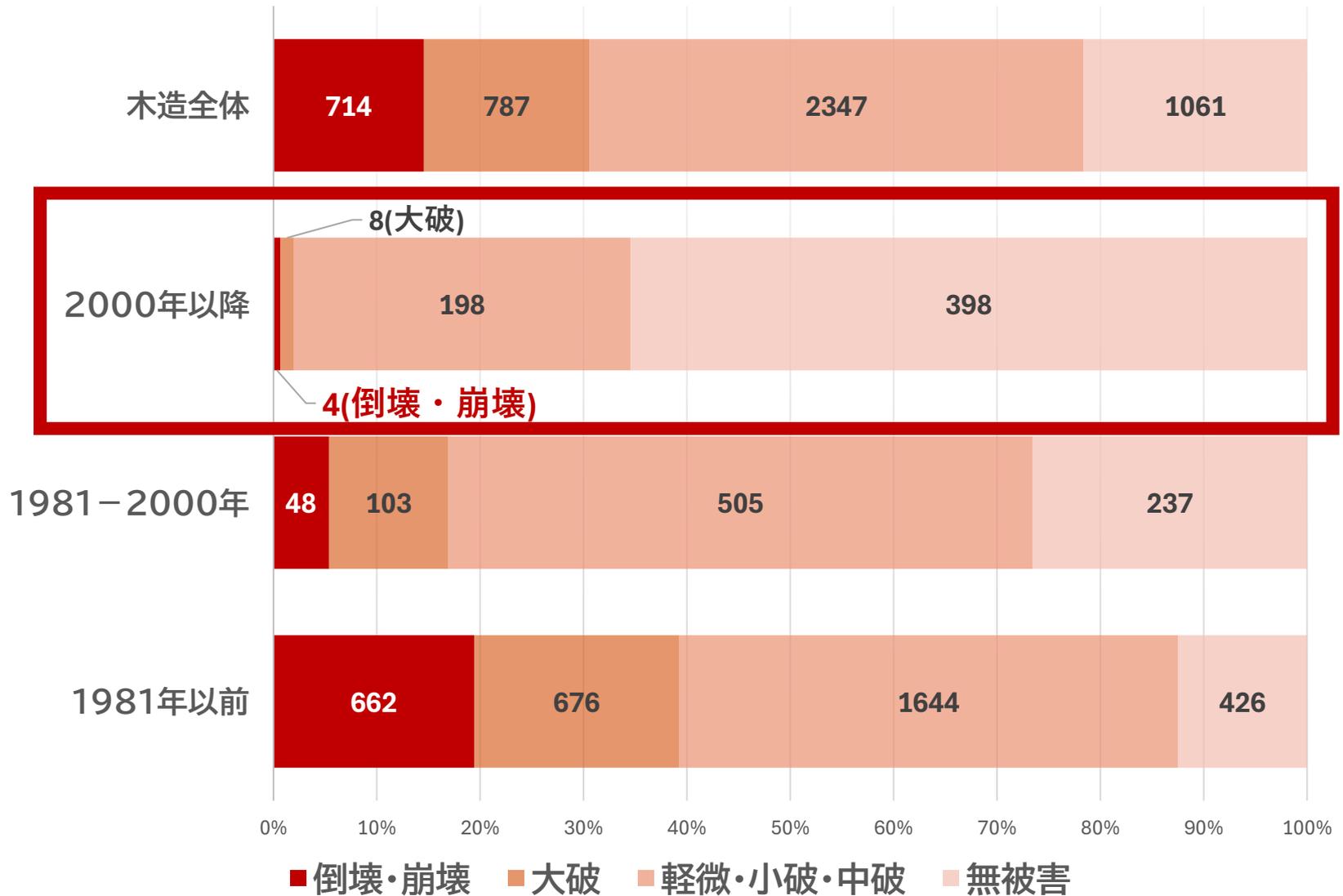
# 石川県立七尾特別支援学校本校の被害



# 建物の被害状況

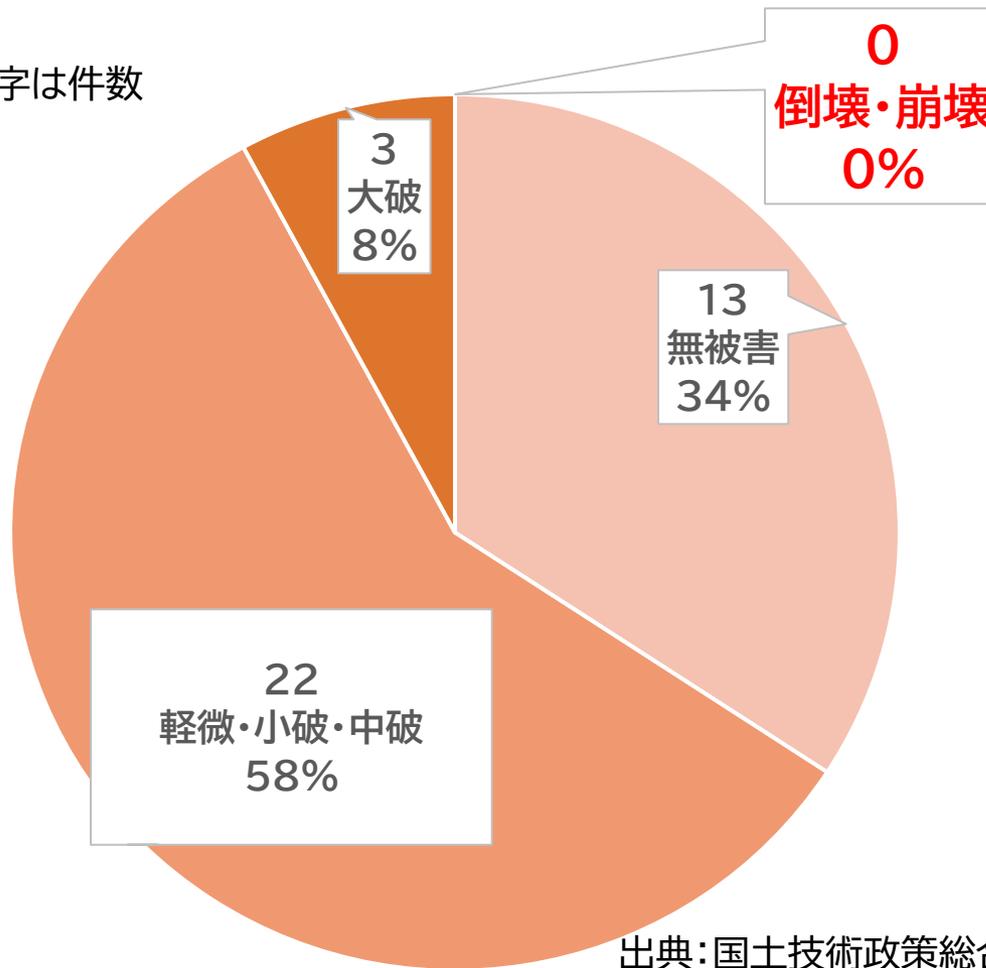
n=5392

出典：国土技術政策総合研究所 令和6年能登半島地震建築物被害調査等報告



# 耐震改修を行った旧耐震基準の木造建築物の被害状況 n=38

※グラフ中の数字は件数



出典:国土技術政策総合研究所  
令和6年能登半島地震建築物被害調査  
等報告(速報)

- 無被害
- 軽微・小破・中破
- 大破
- 倒壊・崩壊

# 令和6年能登半島地震(富山県・新潟県含む)

## 直接死228人、**災害関連死456人**



### 令和6年能登半島地震による人的・建物被害の状況について

【第220報 令和7年11月10日14時00分現在】

連絡先：危機対策課  
(076-225-1482)

市町名	人的被害(人)					住家被害(棟)					非住家被害(棟)			
	死者	うち災害関連死※	行方不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小計	公共建物	その他
				重傷	軽傷									
金沢市	1	1			9	10	32	253	20382			20667		195
七尾市	73	68		36	3	112	538	5088	11498			17124	14	5622
小松市	1	1		1	1	3	1	80	11529			11610		62
輪島市	236	135	2	215	303	756	2311	3971	4352			10634	199	11709
珠洲市	186	89		50	202	438	1756	2108	1746			5610	71	6670
加賀市							14	54	7121			7189		
羽咋市	5	4			7	12	62	488	3440			3990	61	569
かほく市							9	248	3366			3623		237
白山市	1	1			2	3			1801			1801		
能美市				1		1	1	13	3137			3151	9	
野々市市					1	1			1525			1525		
川北町									69			69		
津幡町				2		2	9	83	3511			3603		44
内灘町	6	6		6		12	124	565	2337			3026	29	438
志賀町	24	22		19	97	140	562	2470	4419	6	5	7462	6	3982
宝達志水町							12	79	1790			1881		167
中能登町	3	3		5	1	9	56	910	3378			4344	1	1649
穴水町	55	35		33	225	313	387	1289	1647			3323	28	2475
能登町	80	78		33	25	138	293	1025	4502			5820	25	4210
計	671	443	2	401	876	1950	6167	18724	91550	6	5	116452	443	38029

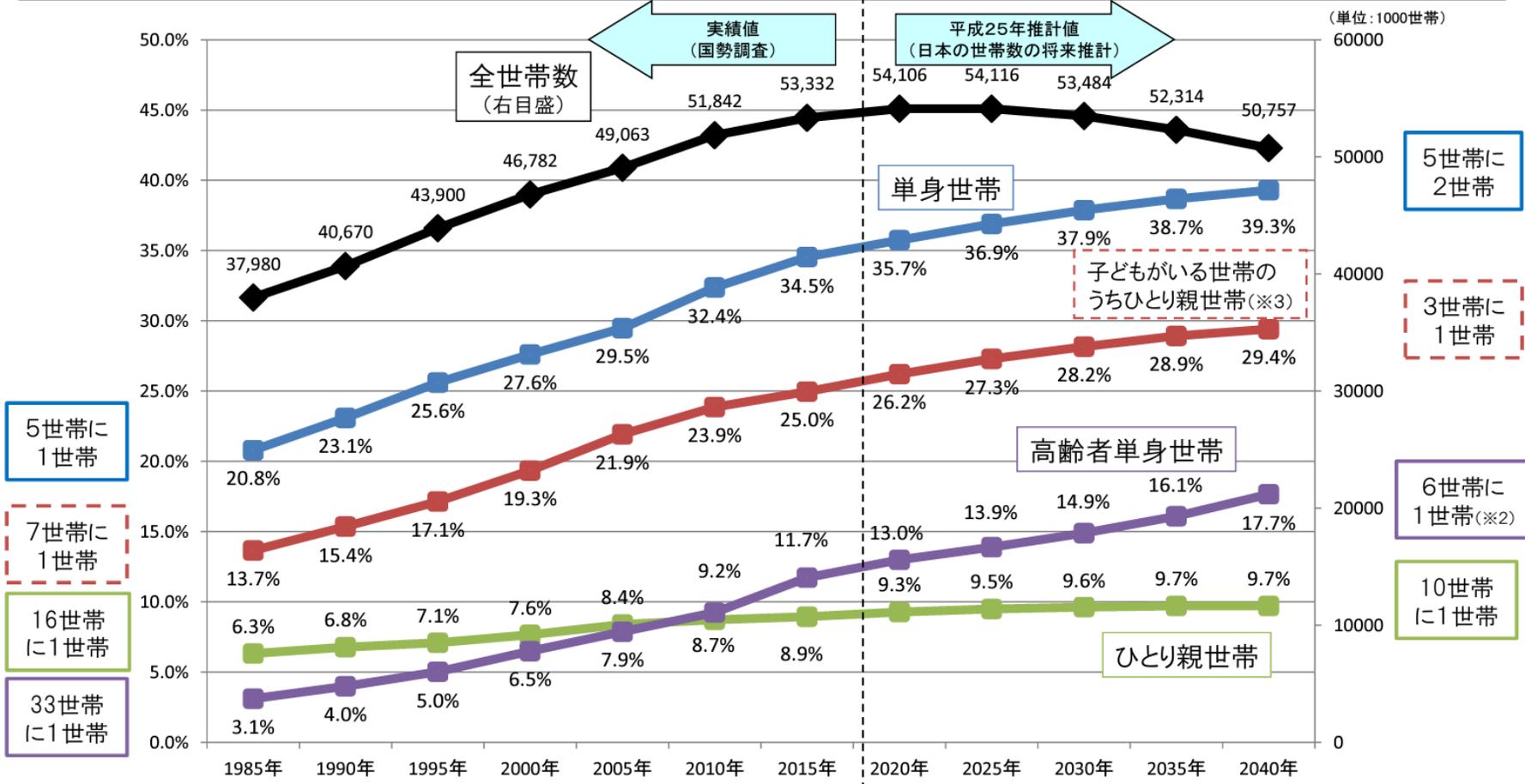
※ 災害関連死：当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和48年法律第82号）に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの

※ 非住家被害については半壊以上のみ記載

# 単身高齢者、高齢者夫婦世帯は増加している！

## 世帯構成の推移と見通し

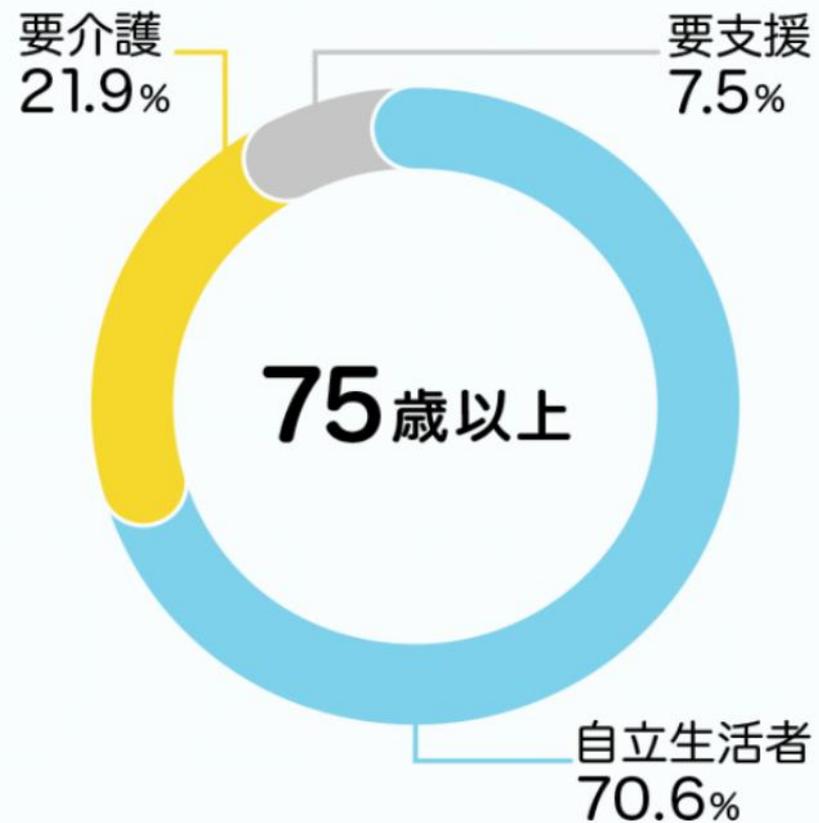
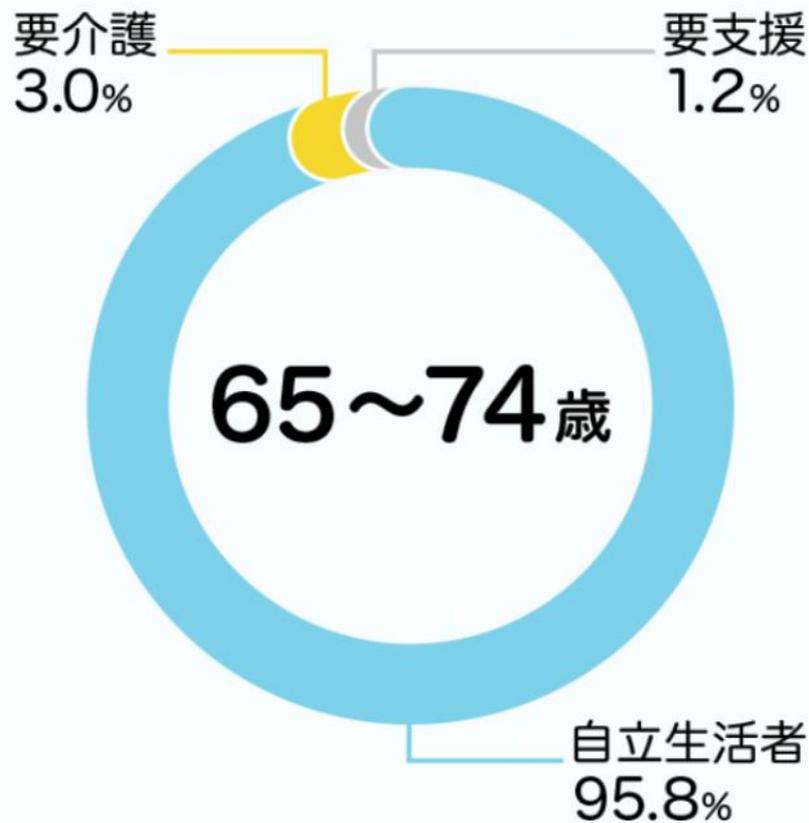
○ 全世帯数の伸びが止まり、2025年以降は減少が見込まれる一方、単身世帯、単身世帯、単身世帯、ひとり親世帯などは、引き続き増加することが予想されている。



(出典) 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(2018年推計)」  
 (※1) 世帯主が65歳以上の単身世帯を、高齢者単身世帯とする。  
 (※2) 全世帯数に対する高齢者単身世帯の割合はグラフのとおりだが、世帯主年齢65歳以上世帯に対する割合は、32.6%(2015年)から40.0%(2040年)へと上昇。  
 (※3) 子どもがいる世帯のうちひとり親世帯=ひとり親と子の世帯/(夫婦と子の世帯+ひとり親と子の世帯)。また、子については、年齢にかかわらず、世帯主との続柄が「子」である者を指す。

# 75歳を境に増える要介護者

## ※1：要介護認定者の実態



※厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」/2009（平成21）年度

# 要介護者の日常生活動作 (抜粋)

出典：日常生活圏域ニーズ調査モデル事業・結果報告書 平成22年（2010）10月厚生労働省老健局

- 自分で入浴できない⇒72.1%
- 50m以上歩けない ⇒69.2%
- **階段を昇り降りできない⇒80.2%**
- 大便の失敗がある ⇒59.9%
- 小便の失敗がある ⇒69.8%

# 令和6年 能登半島地震 災害関連死

出典:北國新聞デジタル R6年7月6日付、NHK NEWS WEB R7年7月1日付

## 災害関連死の死因 (R6:R7)

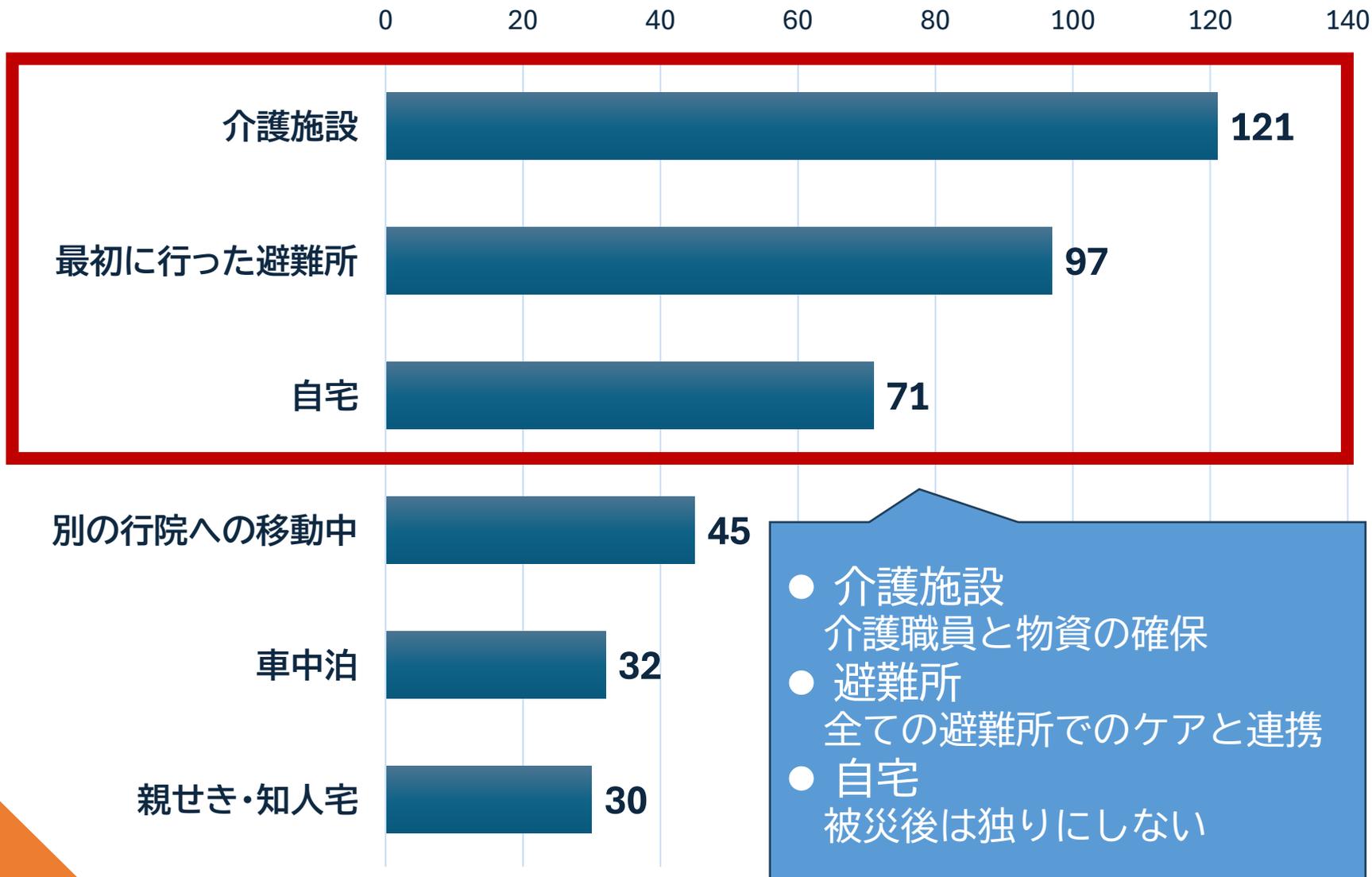
R6年7月 (北國新聞デジタル)	R7年7月 NHK NEWS WEB	
循環器系 (21人)	循環器系 (105人)	33%
うっ血性心不全、急性心筋梗塞、くも膜下出血など		
呼吸器系 (9人)	呼吸器系 (92人)	29%
肺炎、誤嚥性肺炎、細菌性肺炎など		

70代以上は299人 93%を占めている

# 原因は体力低下！！

# 体調悪化の主な場所（重複あり）

出典：NHK NEWS WEB R7年7月1日付



【無断複製厳禁】

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

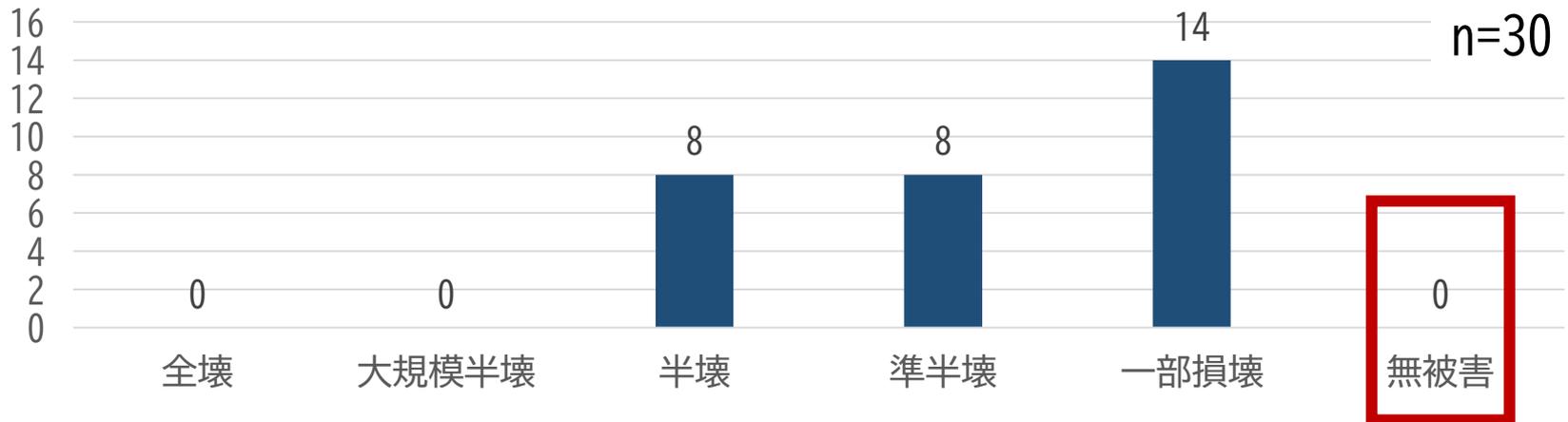
# 災害関連死の経緯・認定理由(輪島市)

## 輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果

年齢	性別	経緯・認定理由
90代	女性	避難所で新型コロナウイルス感染症に感染した結果、うっ血性心不全のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
80代	女性	近隣のビニールハウスに避難しており、トイレが使用できないため近くの畑へ行き転倒、自力で動けない状態となり、低体温症のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
80代	男性	介護老人保健施設で被災。施設が停電、断水する状況の中、発熱と呼吸困難(肺炎)のため病院へ搬送。被災地の病院では治療困難なため転院したが、細菌性肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
70代	女性	震災後の避難所生活や水分の補給不足、薬の不足、睡眠不足、運動不足、転居など生活環境の激変により心身に相当の負荷が生じた結果、急性心筋梗塞のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
80代	男性	自宅で被災し近隣の自主避難所に避難したが、停電により暖房が使用できず翌日帰宅。その後体調不良、発熱により入院したが、肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。

# 施設の事業内容と被災状況

	対象数	回答数	事業種別			サービス・事業					
			高齢	障がい	児童	訪問系	日中活動系	入所系	居住支援系	訓練・就労系	その他※
珠洲市	3	2	1	1		1	2	1	1	1	
輪島市	9	9	7	4	1	3	8	7	5	2	1
七尾市	4	4	3	1		1	3	4			
能登町	6	5	4	1		2	2	3	2	1	1
穴水町	8	8	3	1	3	2	4	4	4		1
志賀町	4	4	4			1	3	4	2		
合計	34	32	22	8	4	10	22	23	14	4	3



- 入所事業系が多いが、放デイ、保育園など大人の宿泊を想定していない施設もあった
- 回答のあった全施設が何らかの被災を受けた中で福祉避難所を開設運営していた

# 福祉避難所となった障がい児者通所施設(輪島市)

## 【発災当日から3月11日までの対応】

- ・現在の避難者数3名、**最大受入数30名(ご家族含む)**
- ・1月1日は、停電、**職員は一人のみ**だった
- ・**建物被害なし**、室内はひどい状況になった
- ・怖いから避難してきた地域の住民もいた
- ・避難所に個室対応はなく、避難所で怒られて**「しつけが悪い」**と言われた
- ・3分の1は市外に出たが、知らない土地で**お母さんたちの孤独**が大きかった
- ・職員の家も被災し、**宿直で働いていた**
- ・2月末ごろには徐々に避難者が自宅に戻り始めた
- ・3月10日に通水、水が茶色く下水状況がわからないため、**トイレは流していない**
- ・3月11日から通所・放課後デイサービスを再開できた

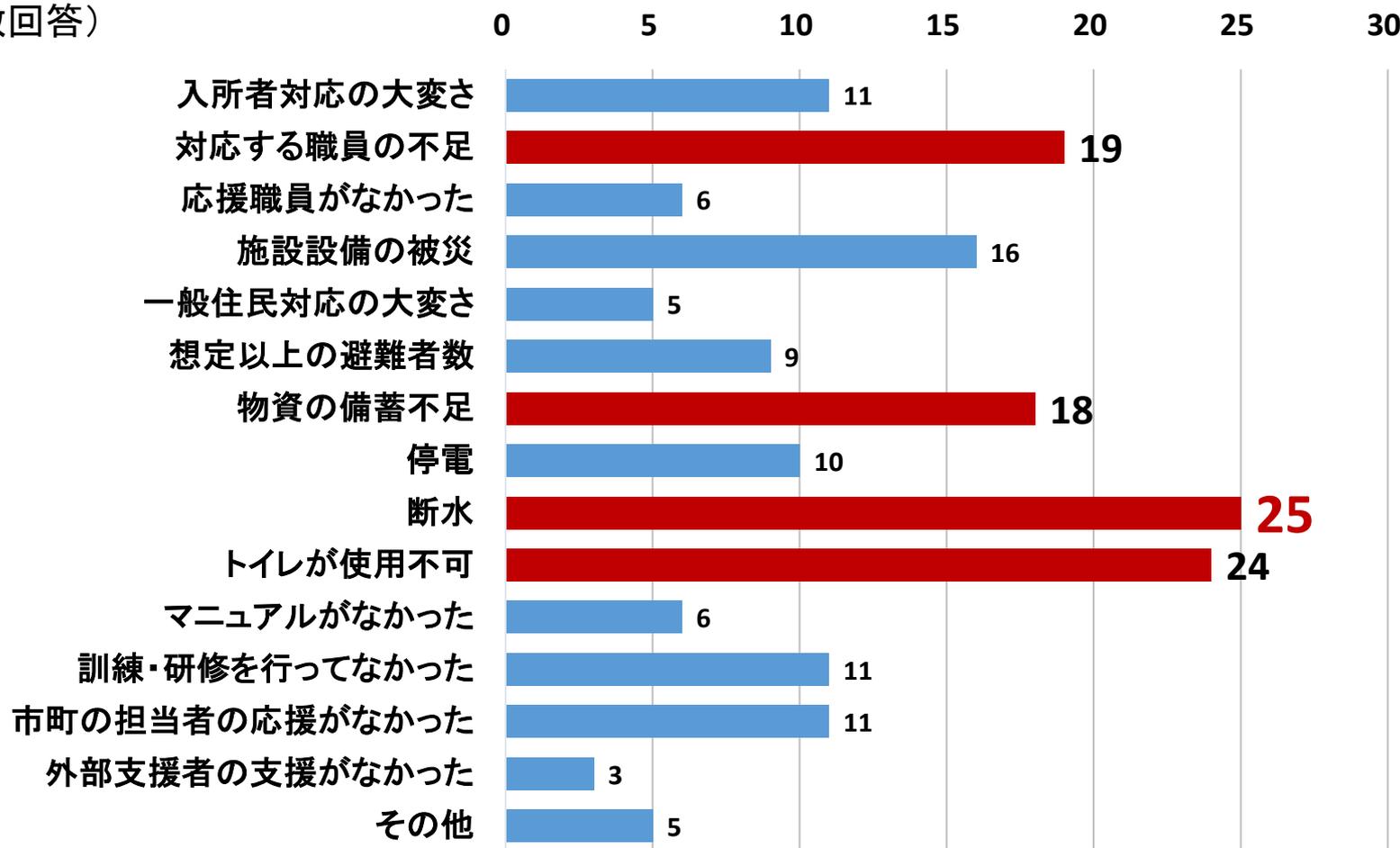


2024年3月11日 福祉防災コミュニティ協会撮影

【無断複製厳禁】 一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

# 福祉避難所の開設運営で苦慮したこと

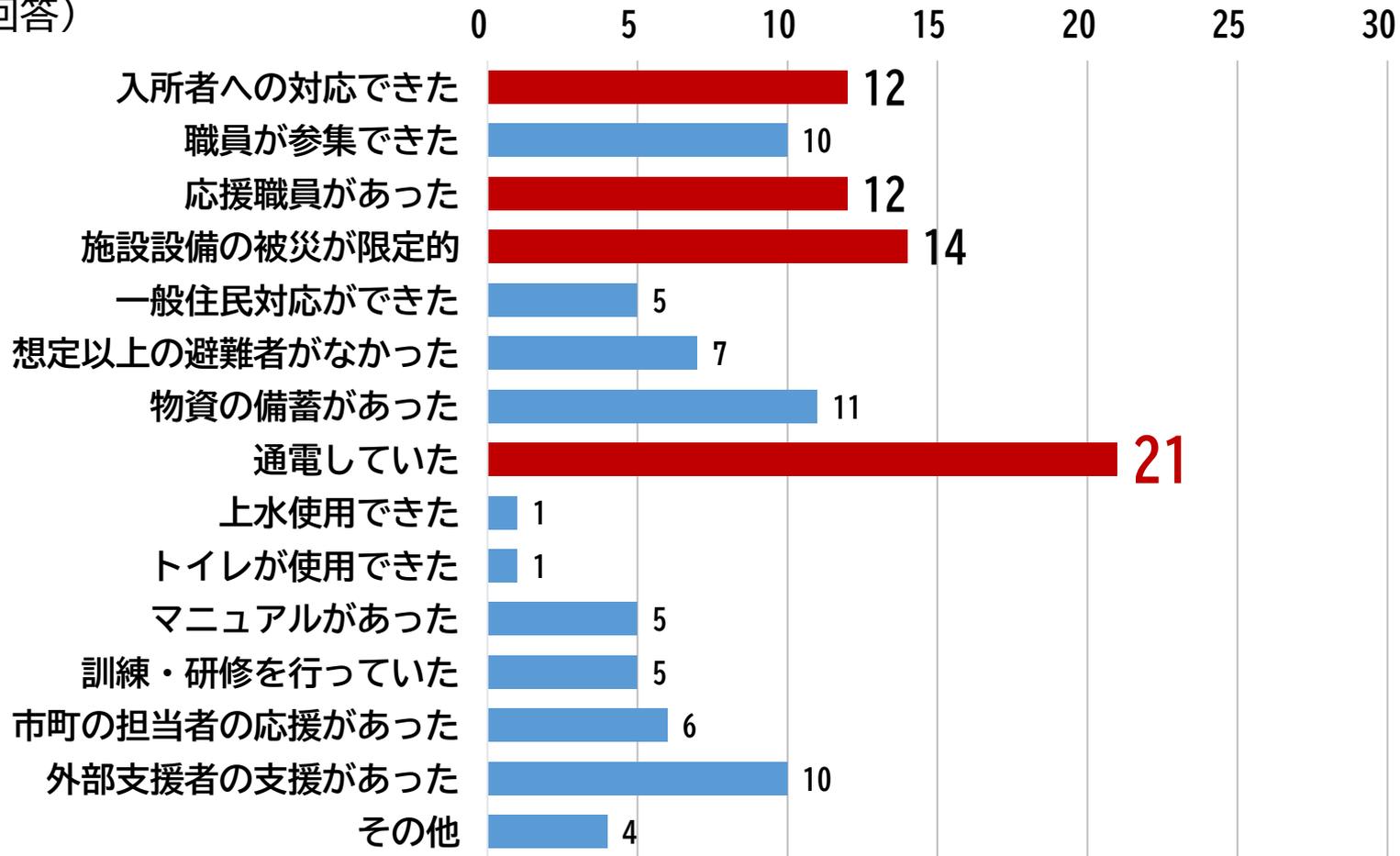
(複数回答)



- 断水、トイレが使用できない理由が最も多く、次いで、対応する職員不足、必要物資不足、施設設備が被災し使用できなかったことがあげられている

# 福祉避難所の開設運営で役立ったこと

(複数回答)



- **通電していたことが最も多く、次いで施設設備の被害が限定的だったこと、応援職員があったこと、入所者への対応ができていたことがあげられている**
- 食料は正月のため外部委託先が十分確保していた（自由記述）

# 福祉避難所開設運営の教訓、 他施設へのアドバイス

- 今回の被害は、防災計画やBCPの想定をはるかに超えていたため、これらがほとんど機能していなかった。福祉避難所としての受入れの流れや、事務的な作業等まで訓練しておく必要がある。
- 参集できる職員が少なくマンパワー不足の中、避難所の設置期間が長くなると、職員が疲弊し退職につながる。
- 大災害時は、公的機関(行政、医療機関、消防、警察など)は多忙を極め、緊急時でもすぐに来てもらえるとは限らない。出来るだけ自ら生き抜くことが出来るように準備しておくことが大切。
- 避難所の立ち上げ訓練及びシュミレーションは毎年実施することが必要。
- もともとの利用者のケアだけでも大変な状況だったため、それ以上の受入れに迷う部分もあった。しかし、この経験は職員にとって確実に自信となったと思う。日頃より地域の方々、公民館との連携を深めている事が重要。被災前にはなかった絆も深まった。
- 福祉避難所の立ち上げには、当初から相談員の配置が必要。
- 感染対策と、受入れ前にしっかりと配慮事項を聞いておくことが大切。対応職員の役割分担を、しっかり行っておくこと。福祉避難所としての対応マニュアルをしっかりと定めておかないと、スムーズな受け入れはできない。

# < 福祉避難所も避難所の一種 >

災害救助法が適用されれば、  
法による支援が受けられる。

- 災害時要配慮者はさまざま、どこにでもいる
- 一様な避難所、仮設住宅だけで済むわけではない
- 福祉避難所、仮設住宅サポートセンターなどが必要
- 避難所も福祉的配慮がないと困る人が多くいる

国が提起して、地元でうまく動くまで相当の年数

# どんな人々のために作られるのか

- 障害当事者、高齢者、乳幼児、その他
- それらの直接支援者、家族、など

⇒多すぎるよ！と心配されるが、

想像力が  
必要

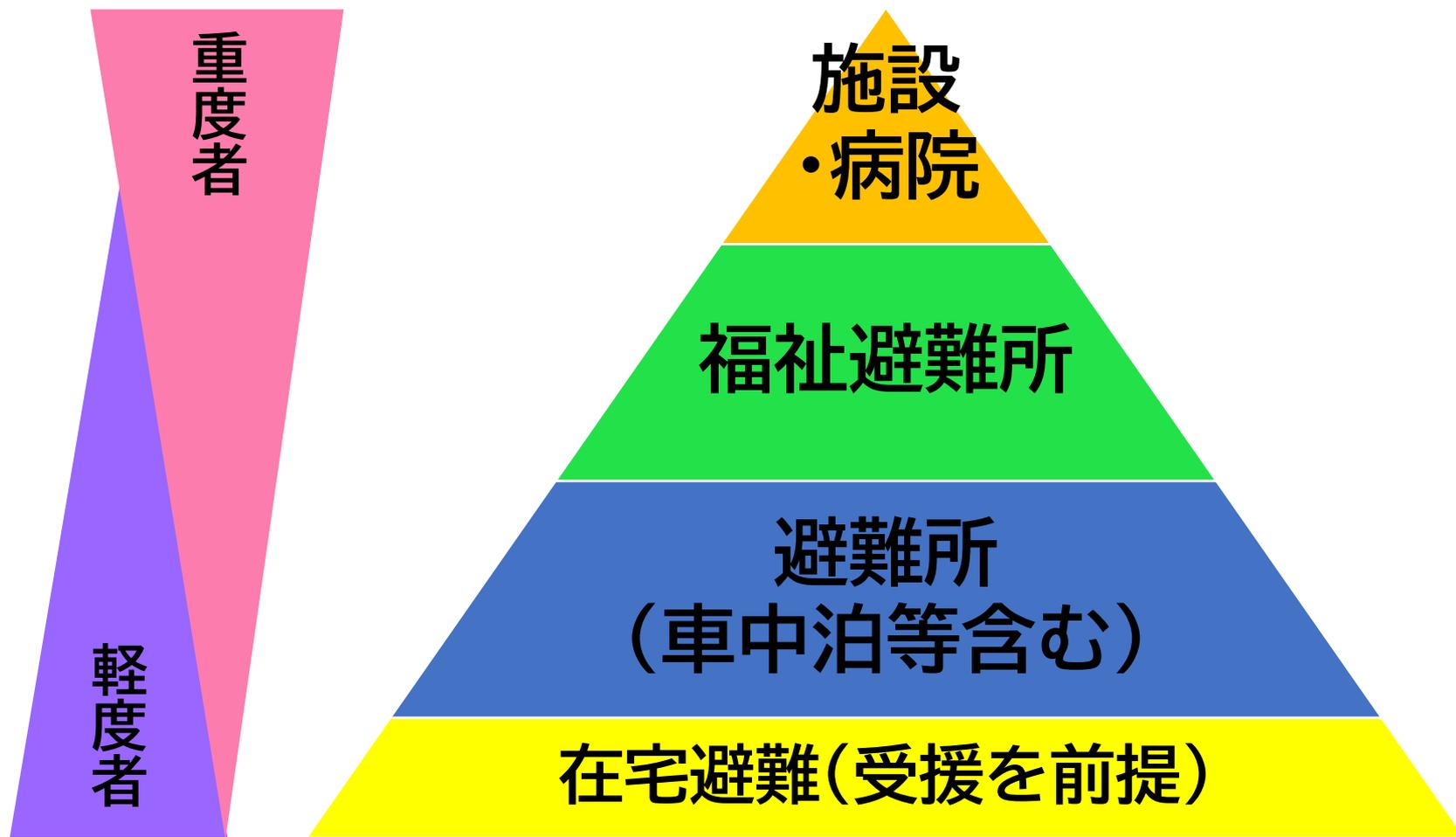
消去法で説明すると…

【災害時要配慮者全体から次の方々を除く】

- 被災後も自宅で避難生活を送ることが可能な方々
- 避難所で過ごすことが可能な方々
- 施設や病院での対応が必要な方々
- 「疎開」などで遠隔地に行った方々

# 要配慮者の避難先 イメージ

(一社)福祉防災コミュニティ協会作成



# 福祉避難所の運営者は？

災害救助法の避難所なので、自治体が設置して、最終的な運営責任を負う

**が、**福祉避難所を実際に運営するのは

- 社会福祉施設運営担当者
- 福祉専門職の応援者
- 自主防災組織等住民

⇒ 専門職でなくてもできる支援は多い(災害時のスペシャルニーズ支援ハンドブック参照)

出典：大阪ボランティア協会HP



# 福祉避難所への支援制度は？

## 一般の避難所での支援

- 現状復旧の修繕費
- 食料、水、日用品 など

## +アルファ 福祉避難所での支援

- 相談支援員(介護職が望ましい)  
(おおむね、避難者10人に1名の配置)
- 福祉用品 など

※1 居宅として扱われるので、介護保険、支援費制度などの対象(認定などを受けている必要はある)。

※2 事前に購入する備蓄品への支援を行政から受けられる場合がある。

# 福祉避難所開設運営に関する変更点1

出典：福祉避難所の確保・運営ガイドライン(令和3年5月改定)

## 1. 1指定福祉避難所の受け入れ対象となるものの概数の把握(P9)

④高齢者(一人暮らし、高齢者のみ世帯等) ⑤**医療的ケアを必要とするもの**  
・避難行動要支援者名簿、個別避難計画等…の情報を活用する。…難病・小児慢性特別疾病患者団体からの情報についても活用し、把握する。

## 2. 1指定福祉避難所として利用可能な施設の把握(P12)

### ・特別支援学校

(長所)在校生やその家族などにとって、慣れ親しんでいる場所に避難することで**安心感が持てる**ことが想定される。**障がい種別に応じてバリアフリー化**されている施設が多い。

(課題)個々の特別支援学校の事情に留意しつつ、地方公共団体が、人材の確保や備蓄等について支援を行うことが必要。開設期間が長期化した場合、本来の施設の機能を果たすことに支障が出る可能性があることを認識の上、**事前に教育委員会等の関係部局等と調整を図る**こと。→**緊急防災・減災事業債の活用**

# 障がいのある子どもたちと家族の避難生活を 支える場所 🙌 在校生・卒業生の福祉避難所

個別避難計画で避難  
場所として指定

およその  
受入人数

■ ■ 特別支援学校	〇〇市 ● ● 3-1-1	在校生	
□ □ 特別支援学校	〇〇市 ● ● 3-1-1	在校生、卒業生及び <u>事前に市が特定した者</u>	
▲ ▼ 児童発達支援センター —	〇〇市 ● ● 3-2-1	障害児及び事前に市 が特定した者	

※ 家族等も受入対象とする

福祉避難所は、

- ・支援者も一緒に生活する
- ・生活再建の相談ができる

# 福祉避難所開設運営に関する変更点2

出典：福祉避難所の確保・運営ガイドライン(令和3年5月改定)

## 2.2 指定福祉避難所の指定

### 2.2.1 指定福祉避難所の指定基準(P14)

災害対策基本法の基準を踏まえ、福祉避難所を指定する。

※実施にあたってのポイント・留意点には該当条項の記載が追記されている。

### 2.2.3 指定福祉避難所の指定及び公示(P17)

- ・**受入れ対象者を特定**し、指定福祉避難所の指定目標を設定する。
- ・一つの指定福祉避難所を複数の市町村が指定する、都道府県が調整し、他の市町村との協定を締結することにより、広域的に確保する。
- ・**特別支援学校について、障がい児やその家族が避難するための指定福祉避難所とすることを想定し、人材の確保や備蓄品等について必要な支援を行う。**
- ・受入れ対象者が特定されていることを公示する。

※受け入れ対象者以外の者については生命保護により一時的な受入れ

# 福祉避難所開設運営に関する変更点3

出典：福祉避難所の確保・運営ガイドライン(令和3年5月改定)

## 5.2 緊急入所等への対応(P31)

緊急入所等については、**受け入れ可能施設の情報**を整理・更新しておく。

→緊急ショートステイ、緊急入院(カルテの共有が必要)

## 6.1 災害時要配慮者支援班の事前設置等(P32)

災害時要配慮者支援班を設置し、必要に応じて、自主防災組織、支援団体、社会福祉施設等福祉関係者、保健師、医師、看護師等の保健・医療関係者、民生委員、ボランティア等をメンバーとする協議会等を設置する。

## 第2章

### 1.1 指定福祉避難所の開設及び要配慮者の受入れ(P36)

**高齢者等避難(レベル3)**が発令された場合などには、福祉避難所を開設する。

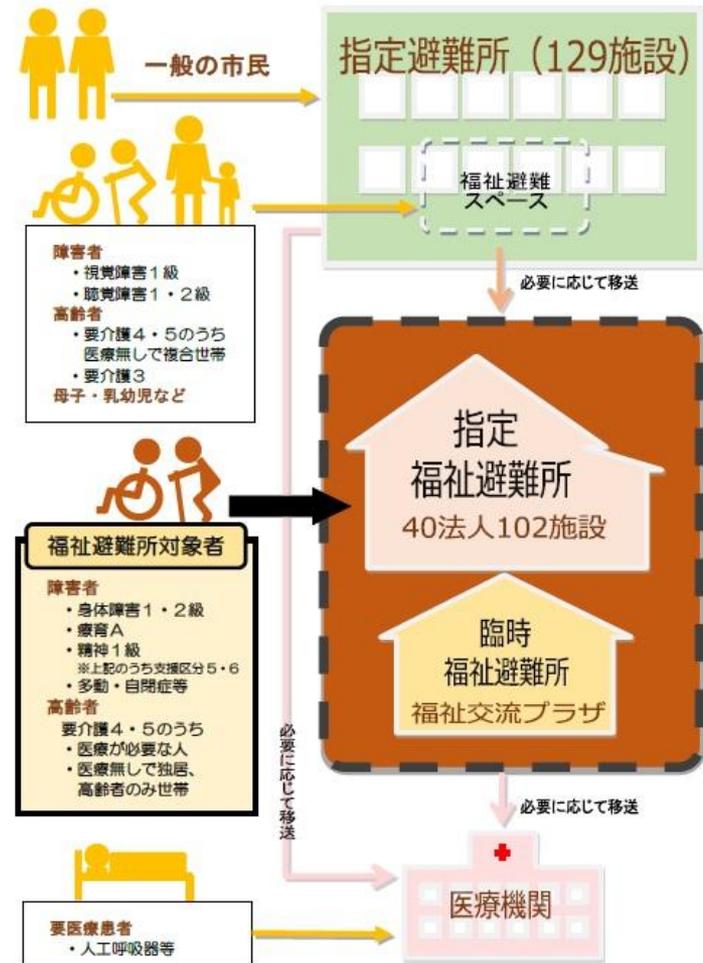
看護師等の**医療的ケア**が可能な人材を配置するとともに、**医療的ケアに必要となる衛生用品**を確保する。

# 上越市の取組み

出典：福祉避難所の確保・運営ガイドライン(令和3年改訂)資料編／  
福祉避難所の対象者と避難方法(上越市ホームページ)

- あらかじめ市の聞き取り調査を終えて、避難する福祉避難所が指定されている人は、自宅から**直接避難**
- 福祉避難所が指定されていない人は、まずは近くの**指定避難所内の福祉避難スペース**を利用
- 要医療患者(人口呼吸器等)は**病院へ災害入院**
- 必要に応じて**移送**を想定

## 《避難のイメージ》





# 避難とは、

個別ひなん計画

## 避難行動

安全な場所への移動行動

+

## 避難生活

安全な場所での暮らしの再建

防災学習  
の目標

災害ケース  
マネジメント

# 近年頻発する豪雨災害における高齢者等への被害の集中

出典：内閣府「2021年3月5日：高齢者・障害者等の個別ひなん計画に関する 防災と福祉の連携について」

## ●平成30年7月豪雨

愛媛県、岡山県、広島県の死者数のうち、60歳以上の死者数の割合

→約70% (131人/199人) (高齢者の死者数/全体死者数)

(うち市区町村別死者数最大の倉敷市真備町における70歳以上の割合  
約80% (45人/51人))

## ●令和元年台風第19号

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合

→約65% (55人/84人)

## ●令和2年7月豪雨

全体の死者数のうち、65歳以上の死者数の割合

→約79% (63人/80人)

(うち熊本県 約85% (55人/65人))

注：本資料中に記載している死者数等の数値は、2020年12月24日に公表された「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難のあり方について（最終とりまとめ）」本文中に記載されているものであり、最新値とは異なる可能性があります。

# 個別ひなん計画による避難支援のイメージ

福祉防災コミュニティ

①避難生活支援  
福祉避難室・所など



一人ひとりの安全確保!!!



③みんなで助かる  
避難行動支援

「〇〇さん、私たちと一緒に避難しましょう！」

②情報収集・避難準備  
避難連絡・安否確認



地域支援者  
呼びかける人



その場にいる人！

地域支援者  
一緒に逃げる人たち

要支援者

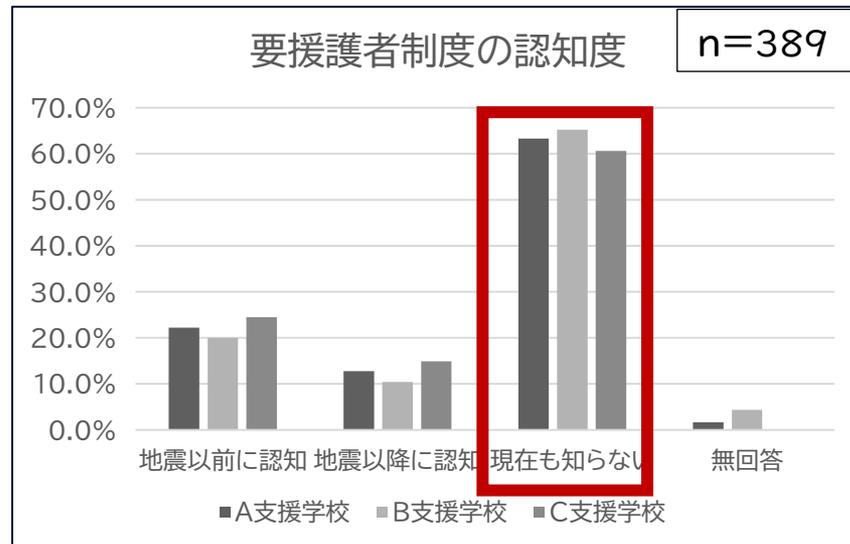
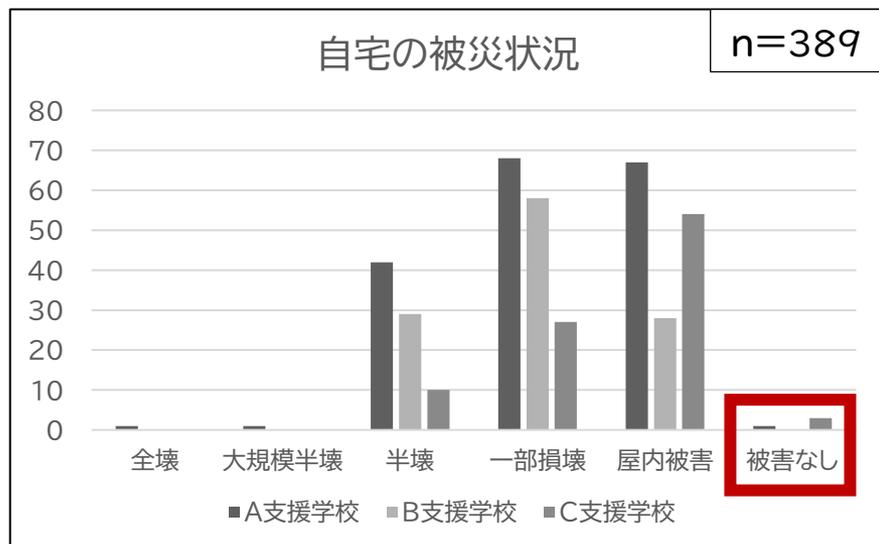
「〇〇さん、大丈夫ですか？」  
「避難を開始しましょう！」

チーム



出典：2018年度大阪府学校防災アドバイザー派遣事業報告会資料

# 自宅の被災状況・要援護者制度の認知度・自由記述(抜粋)



## 自由記述「被災後に困ったこと」より抜粋

- ・市がカセットコンロの配布をしていましたが、子どもを連れて並ぶのも大変なので遅れていくともうないと言われた。
- ・家から出られない状態で不安、(子どもの)ストレスが溜まり、精神的にも辛かった。避難所に行くことになったらその方が大変。家にいる方がよいが危険のある場合どうしたら…
- ・エレベーターが止まったので、車いすを家に運べなかった。抱きかかえて上り下りした。

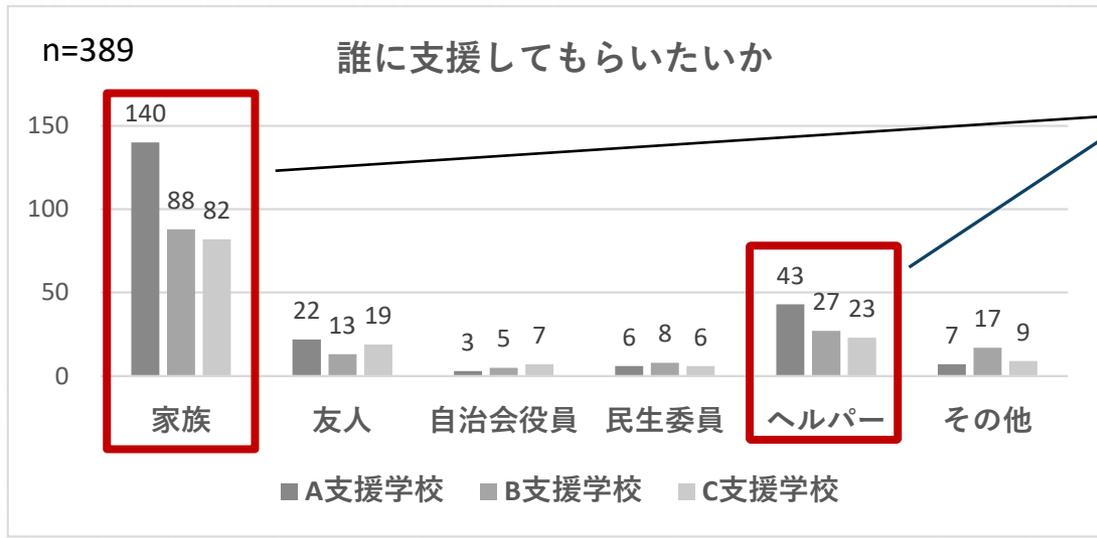
# 学校(教職員)の発災当日の対応について

## 地震後の教職員へのヒアリング

- ・たまたま連絡先(ライン)を知っていたので、電車に閉じ込められていた生徒を最寄り駅まで迎えに行けた。
- ・当日は3割ほどの職員で対応した。分掌で(災害)対応の役割を決めていたが、全くメンバーがいない班ができた。
- ・休校決定後、児童デイサービスに引き渡したが、保護者との連絡が事後になった。
- ・災害発生時のスクールバスの対応を決めていなかった。



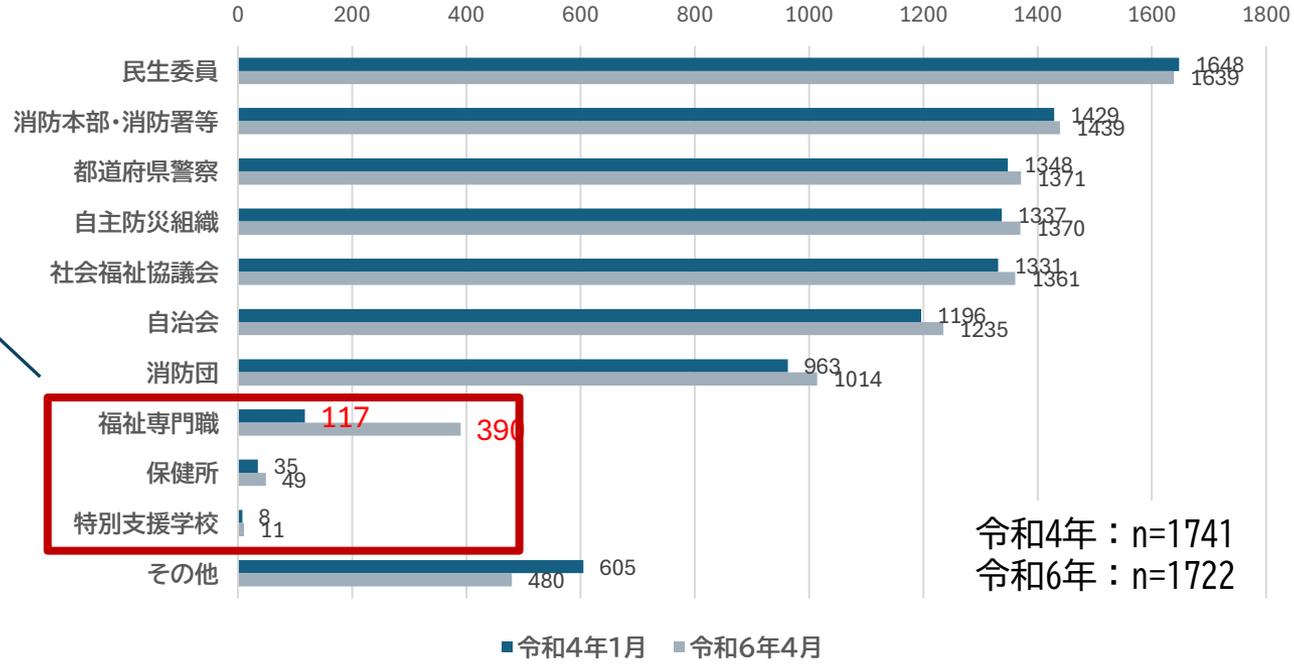
**災害時優先業務の設定が必要**



平成30年大阪府北部地震後の3つの特別支援学校でのアンケート調査

障がい理解のある人に支援してもらいたい！

制度上の支援者  
福祉関係者の支援体制はこれから…



令和4年：n=1741  
令和6年：n=1722

出典：避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果（令和4年1月1日および令和6年4月1日現在）

# 2011.3.11 東日本大震災

2011年3月11日(金)14時46分発生 M.9.0

死者 19,775人 行方不明者 2,550人 合計 22,325人

※うち、震災関連死 3,802人(うち、66歳以上 全体の88.5%)

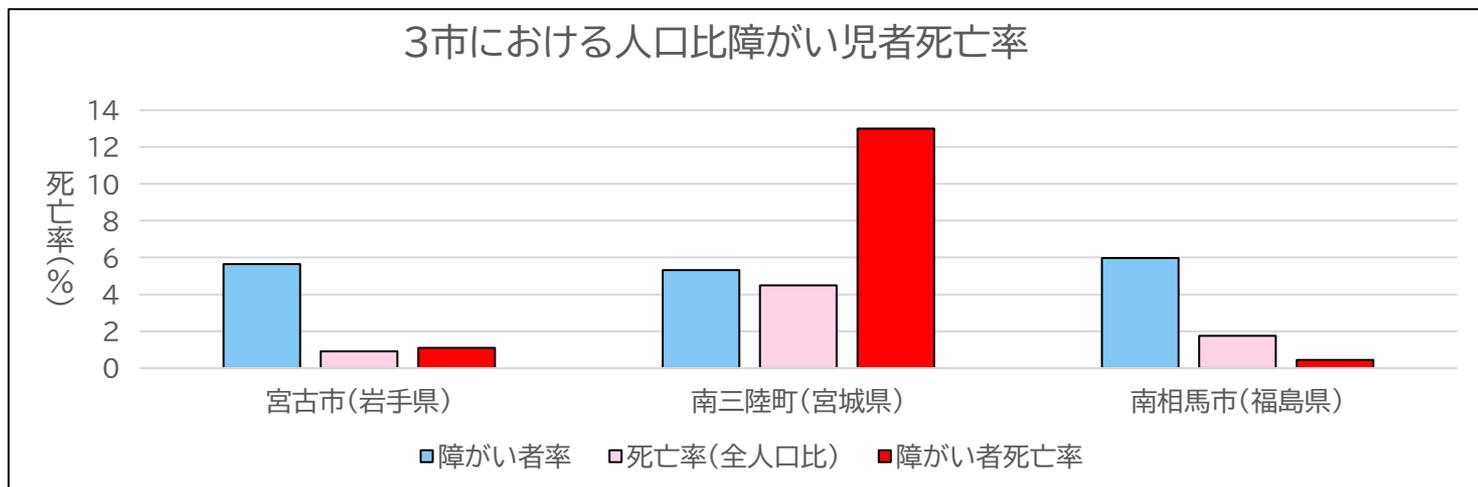
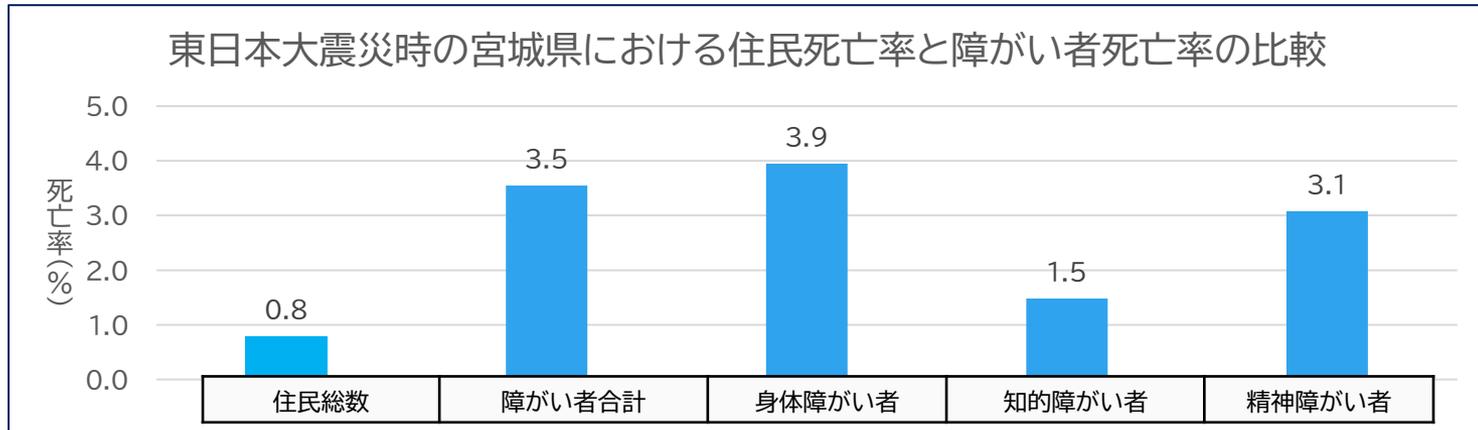
福島県(南相馬市、富岡町、浪江町)が全体の62%を占める

出典:復興庁(令和5年12月31日現在)、消防庁(令和6年3月1日現在)資料より抜粋作成



# 災害に対する障がい特性・地域特性の弱さ

## 大震災と障がい者 高い死亡率の背景にあった弱さとは

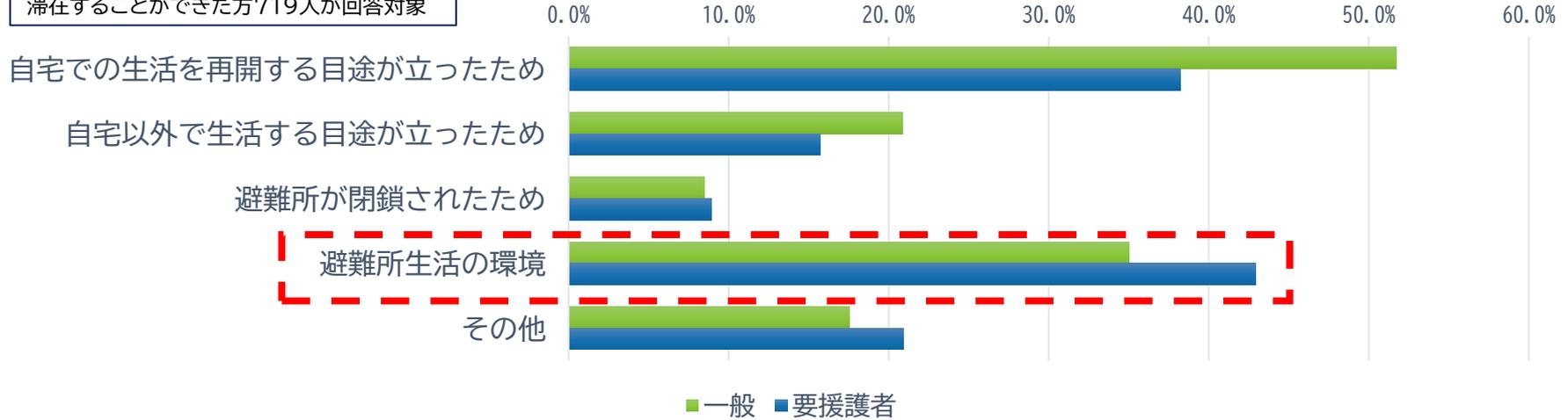


# 最初に行った避難所を退所したときの要因

出典：避難に関する総合的対策の推進に関する 実態調査結果報告書(平成25年)

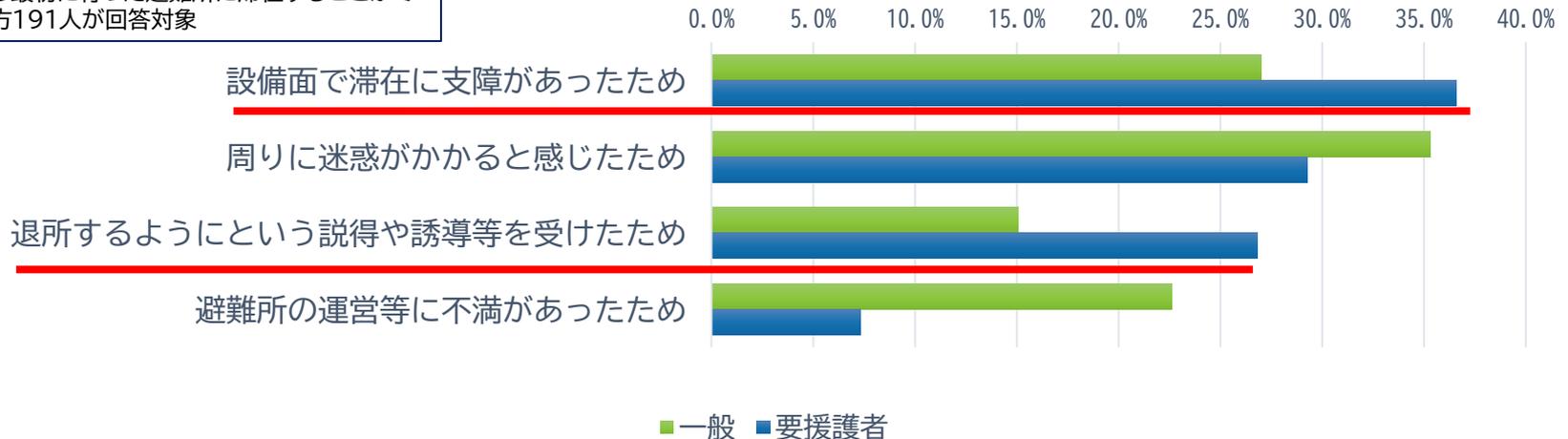
※避難支援が必要ではなかったと回答した方3,260人のうち 最初に行った避難所に滞在することができた方719人が回答対象

## 最初に行った避難所を退所した要因



※避難支援が必要だったと回答した方783人のうち最初に行った避難所に滞在することができた方191人が回答対象

## 避難所生活の環境 (内訳)



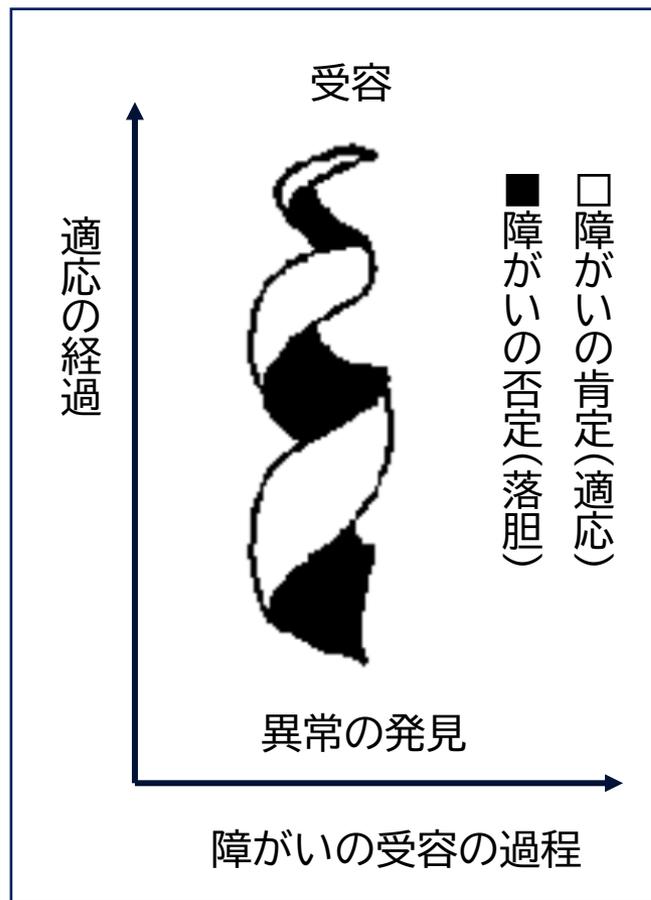
# 障がいを周囲と分かち合うことの困難さ 本人の課題・地域の課題

東日本大震災の現場で「あと少しの支援があれば」中村雅彦(2012)

- 在宅の障がい児者を高齢者が世話をしている家庭も多かった。残念なことに、高齢者の判断が遅れ、ともに逃げ遅れた事例がいくつもあった。
- 自閉症の子どもがいることを近所の方が前から知っていたので、支援に駆け付け、一緒に避難して助かった
- 多くの被災地を回った経験からは、残念なことに障がい者にとって地域の助け合いは重要だが、必ずしもうまく行われていないと思う

平成30年西日本豪雨災害 倉敷市真備町  
「NHKニュースウォッチ9 平成30年10月5日放送」

- 知的障がいのある親子は福祉サービスを受けていたが、地域とのつながりが希薄で、また、「行ったことのない所にはひとりで行けない」という障がい由来の理由で、地域の避難場所へ自分たちだけで緊急避難ができず亡くなった。



親の障がいの認識と受容に関する考察  
受容の段階説と慢性的悲哀;中田(1995)

# 東日本大震災 死者の教訓

○高齢が約6割、障がい者死亡率2倍

→体力がない、地域とのつながりが弱い

⇒個別ひなん計画で近所や福祉とのつながり

○自治体職員288名(出典:地方公務員災害補償基金2019年)

学校関係者38名(岩手・宮城・福島)(出典:内閣府東日本大震災第208報)

消防団員254名(出典:消防団員等公務災害補償等共済基金)

民生委員56名(出典:内閣府 災害時要援護者の避難支援に関する検討会資料2012)

福祉施設職員173名(出典:厚労省老健局 第3回災害医療等のあり方に関する検討会)

→守り手、支援者の危機管理能力が弱い

⇒個別ひなん計画で支援者の危機管理能力向上

○3,774名の震災関連死(R3.3.31復興庁資料)

→89%が66歳以上、移動や避難所で衰弱

⇒福祉施設BCP、福祉避難所が必要

# 平成30年西日本豪雨(岡山県倉敷市)



岡山県立倉敷まきび支援学校の被災の様子平成30年7月15日(湯井撮影)

# 平成30年7月豪雨(小田川氾濫)

出典:国土交通省資料より抜粋作成



# 倉敷まきび支援学校の被災と現在の様子



最高水位は4.8m。2階の床上5cmまで達し、スクールバス、1階にあった知的障害部門小学部と高等部職業コース2・3年生教室、肢体不自由部門、事務室、校長室、保健室等は全て水没してしまいました。

出典：岡山県立倉敷まきび支援学校ホームページ  
「復興に向けて」より抜粋作成



机やイスをはじめとした教材・教具が全て被災してしまいました。



まきび支援学校運動場に、プレハブが3棟建ち、知的障害部門高等部の授業が始まりました。

# 被災した学校の代替施設での事業継続

被災状況と対応 ⇒1年後9月2日に全校復旧

- ・2階建て校舎の内1階部分が完全に水没
- ・児童生徒及び教職員に大きなけが等はなかった
- ・7月9日(月)～19日(木)まで臨時休校、引き続き夏季休業
- ・学校再開までは他校(県立支援学校)に仮事務所を設置



部 門		児童生徒数	対 応
知的	高等部	174名	プレハブ校舎を設置し、教室を確保
	中学部	59名	倉敷市立倉敷支援学校に教室を確保
	小学部	89名	県立岡山南支援学校に教室を確保
肢体	小・中・高	25名	県立早島支援学校に教室を確保
合 計		347名	

# BCP(事業継続計画)の定義

- **BCP(Business Continuity Plan)とは、**
- **大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン(供給網)の途絶、職員の大量離職、経営者の不祥事などの不測の事態が発生し、⇒理由は何であれ危機が発生したときでも**
- **重要な事業を中断させない または 中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための**
- **方針、体制、手順等を示した計画**

# 福祉事業所における危機的状況(1)

## ヒト

- 集まれる職員が少ない
- 施設長など責任者、看護師など専門職が不在となった

## 情報

- 連絡手段が使えない
- 重要システムが使用できない

## モノ

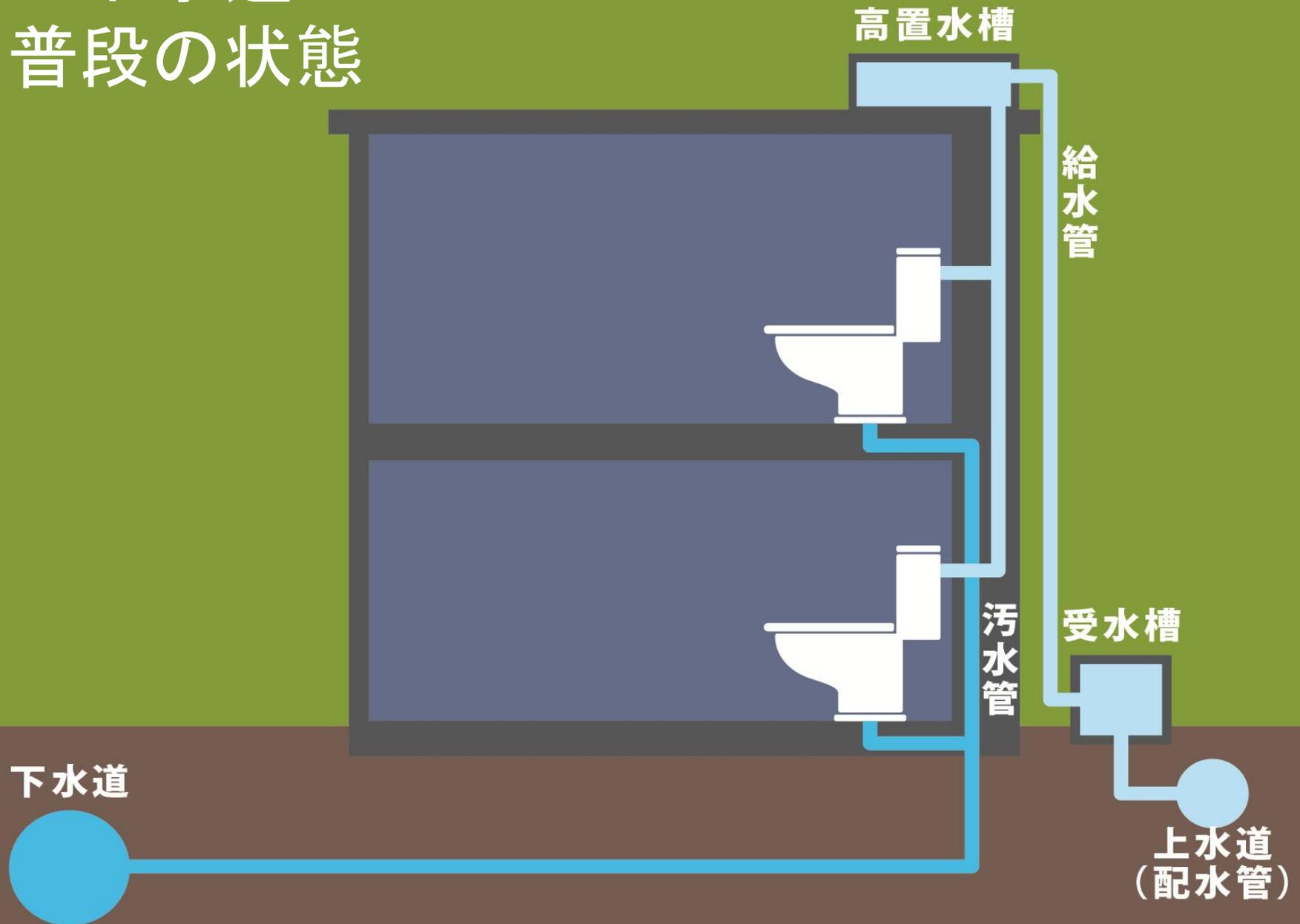
- 水、食料、薬など必要な物資がなくなった
- 宿泊できる準備がない

## 場所

- 職員が宿泊する場所が足りない
- 地域の人を受け入れる場所が足りない



# 上下水道 普段の状態



# 上下水道(じょうげすい どう)ともに壊れたら...

...しかし、  
どこが壊れているのか  
外から見えない！  
わからない！

下水道

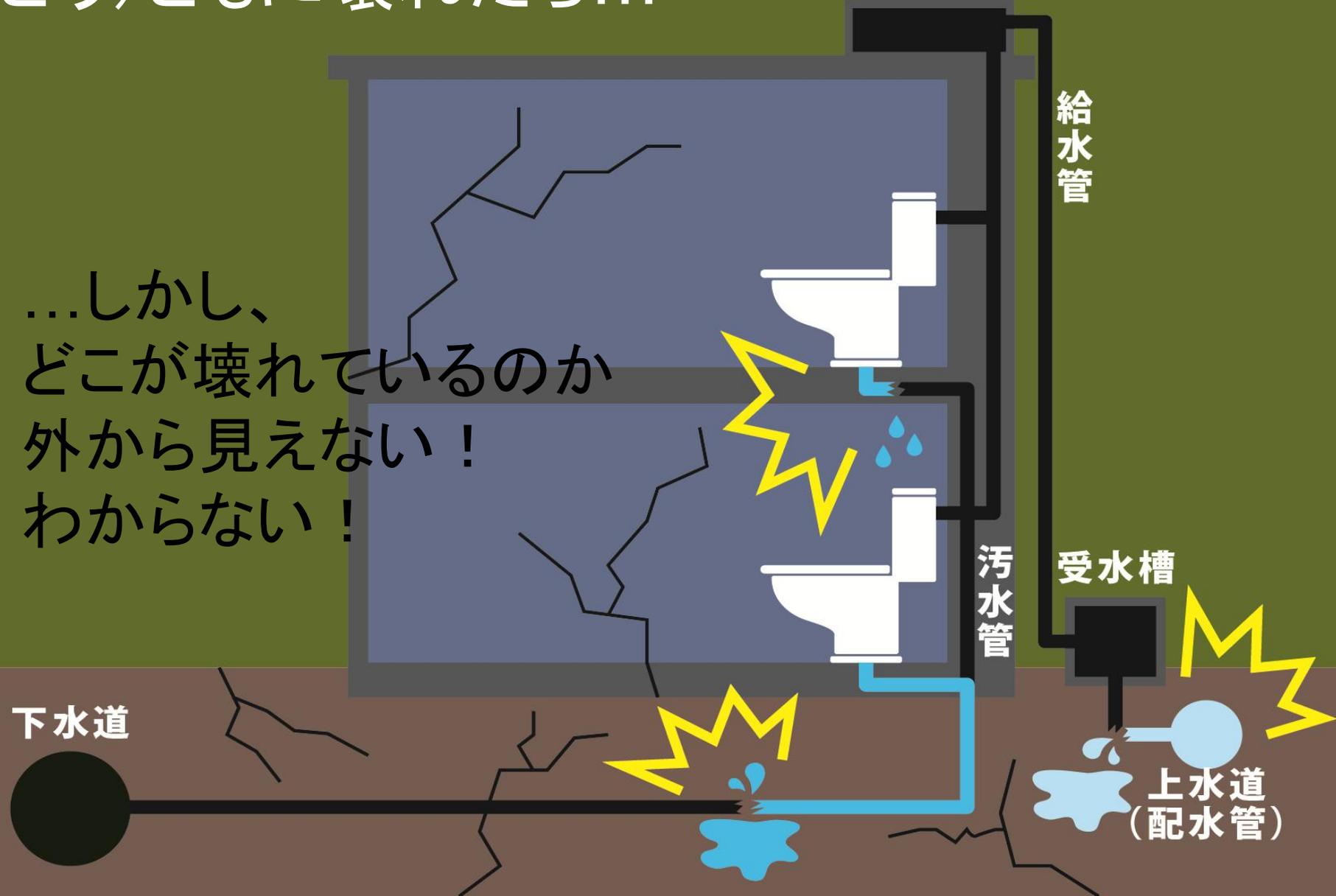
高置水槽

給水管

汚水管

受水槽

上水道  
(配水管)



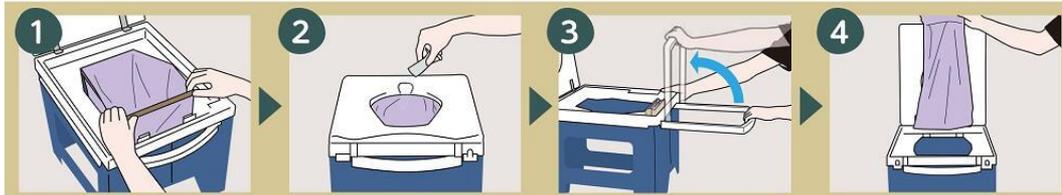
# 在宅被災生活のために用意したいもの(トイレ編)

自宅のトイレを有効活用する方法とポータブルタイプの災害用トイレの備蓄を進めましょう。

- ・固形材+便袋やシートタイプ
  - ・自動ポータブルトイレ
- 少なくとも1週間分は準備しておきましょう！



 wrappon



**吸水** シート一体型

**簡単!** 袋を開くだけ

**処理** は可燃ごみでOK

使用方法  
8カ国語表記に  
「リニューアル!!」

**災害用トイレ**  
サニタクリーンシリーズ  
簡単トイレ(便袋)20枚入

**災害用**  
トイレセット  
10回分  
1人/約2日分  
日本製 10年保存

抗菌 消臭  
スピード凝固 可燃ゴミ

**mini-10**

**Mylet**

持ち運び袋  
災害用 トイレセット  
10回分入り  
Mylet mini-10

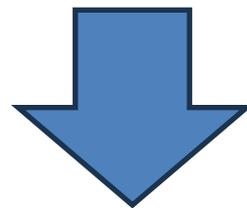
# 福祉事業所における危機的状況(2)

## インフラ

- 停電により、冷暖房、トイレ、エレベータ、照明、PCや機械等が使用できない
- 電話・インターネットが繋がらない
- 交通機関が止まり、道路、橋が損壊し、人が集まらない
- 断水で水が使用できなくなった

## カネ

- 利用者が少なくなったのに、給与や仕入れ等の支払が迫っている



**計画**作って、  
**訓練**して、  
**見直し**を！！

# 基本BCPのひな型

## 【重要な要素】

- ハザードと避難場所・方法
- ライフライン停止対策、トイレ、備蓄、安否確認方法
- 教職員の自助
- 事業の優先順位
- 職員参集、応援の確保
- 地域貢献・福祉避難所

# 学校が防災を進める法的根拠：学校保健安全法

学校保健法が2009年に学校保健安全法と改称、学校安全の章が新設(第3章第26条から30条)

「学校」は、

事故等に対し施設、設備、管理運営体制に整備充実、その他の必要な措置を講ずる(第26条)

施設、設備の安全点検、通学を含めた学校生活そのが日常生活の安全に関する指導、教職員研修など安全に関する計画(学校安全計画)を策定し、実施しなければならない(第27条)

事故等により影響を受けた児童生徒その他関係者の心身を回復させる支援を行う(第29条3)

「校長」は、

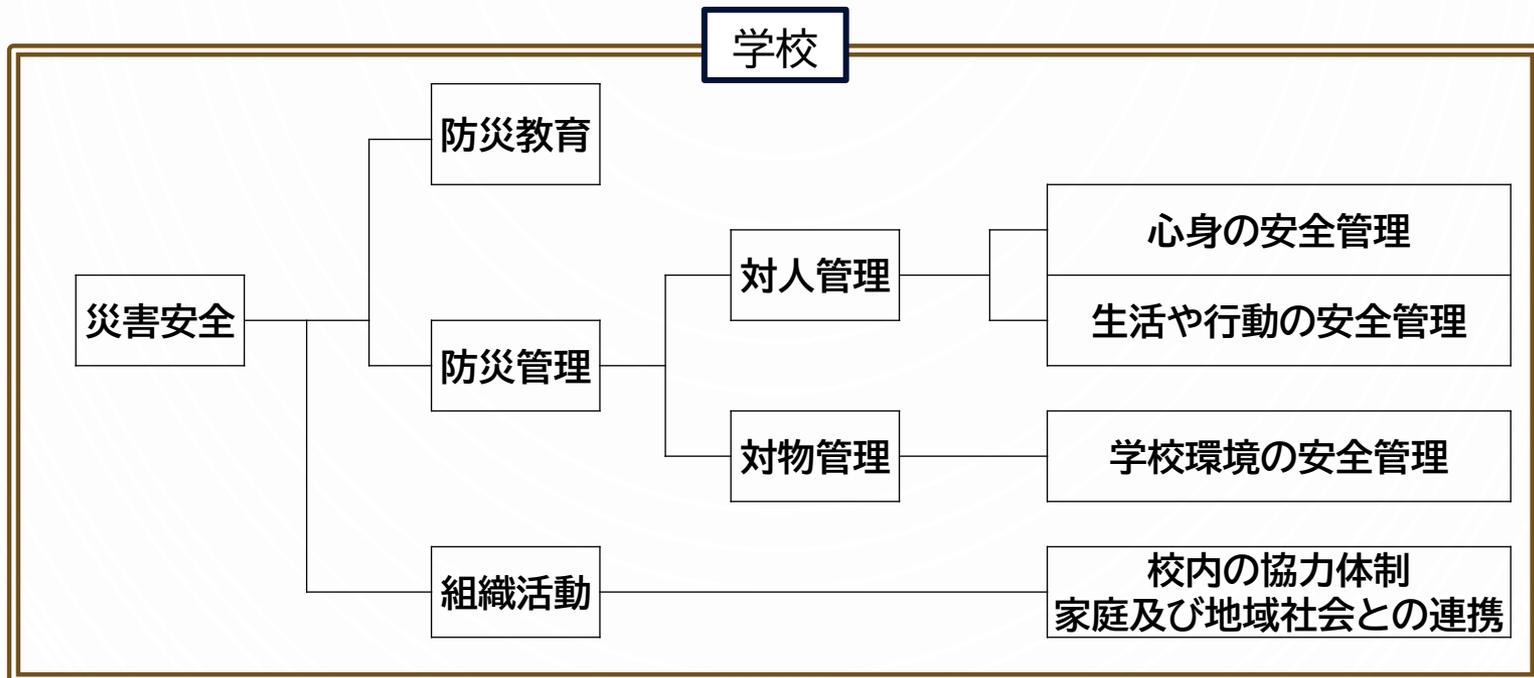
学校の施設又は設備、児童生徒等の安全の確保を図るうえで支障となる事項に対し、遅延なく、その改善を図るために必要な措置を講じる(第28条)

危険等発生時において学校職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領「危険等発生時対処要領」の職員に対する周知、訓練実施、適切に対処するために必要な処置を講ずる(第29条)

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、児童生徒等の保護者との連携を図るとともに、当該学校が所在する地域の実情に応じて、当該地域を管轄する警察署その他の関係機関、地域の安全を確保するための活動を行う団体その他の関係団体、当該地域の住民その他の関係者との連携を図るよう努める(第30条)

# 防災教育・防災管理・災害安全に関する組織活動

学校安全の領域:「生活安全」「交通安全」「災害安全」を危険等発生時対処要領(学校危機管理マニュアル)で総合管理し、組織活動で実践する



出典:大阪府教育庁教育振興室保健体育課 編集・発行「学校における防災教育の手引き」改定2版(補訂版)

# 第3次学校安全の推進に関する計画（概要）

- 学校安全の推進に関する計画：各学校における安全に係る取組を総合的かつ効果的に推進するため、国が策定する計画（学校保健安全法第3条第2項）
- 「第3次学校安全の推進に関する計画の策定について（令和4年2月7日中央教育審議会答申）」を踏まえ、令和4年3月25日（金）に閣議決定（計画期間：令和4年度から令和8年度までの5年間）

## I 総論

### 第3次計画の策定に向けた課題認識

- 学校が作成する計画・マニュアルに基づく取組の実効性に課題
- 学校安全の取組内容や意識の差
- 東日本大震災の記憶を風化させることなく今後発生が懸念される大規模災害に備えた実践的な防災教育を全国的に進めていく必要性 など

### 施策の基本的な方向性

- 学校安全計画・危機管理マニュアルを見直すサイクルを構築し、学校安全の実効性を高める
- 地域の多様な主体と密接に連携・協働し、子供の視点を加えた安全対策を推進する
- 全ての学校における実践的・実効的な安全教育を推進する
- 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練を実施する
- 事故情報や学校の取組状況などデータを活用し学校安全を「見える化」する
- 学校安全に関する意識の向上を図る（学校における安全文化の醸成）

### 目指す姿

- 全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けること
- 学校管理下における児童生徒等の死亡事故の発生件数について限りなくゼロにすること
- 学校管理下における児童生徒等の負傷・疾病の発生率について、障害や重度の負傷を伴う事故を中心に減少させること

## II 推進方策



5つの推進方策を設定し、学校安全に関する具体的な取組の推進と学校安全に関する社会全体の意識の向上を図る

1. 学校安全に関する組織的取組の推進

2. 家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進

3. 学校における安全に関する教育の充実

4. 学校における安全管理の取組の充実

5. 学校安全の推進方策に関する横断的な事項等



## 推進方策 1. 学校安全に関する組織的取組の推進

- 学校経営における学校安全の明確な位置付け
- セーフティプロモーションスクールの考え方を取り入れ、学校安全計画を見直すサイクルの確立
- 学校を取り巻く地域の自然的環境をはじめとする様々なリスクを想定した危機管理マニュアルの作成・見直し
- 学校における学校安全の中核を担う教職員の位置付けの明確化、学校安全に関する研修・訓練の充実
- 教員養成における学校安全の学修の充実

## 推進方策 2. 家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進

- コミュニティ・スクール等、学校と地域との連携・協働の仕組みを活用した学校安全の取組の推進
- 通学時の安全確保に関する地域の推進体制の構築、通学路交通安全プログラムに基づく関係機関が連携した取組の強化・活性化
- SNSに起因する児童生徒等への被害、性被害の根絶に向けた防犯対策の促進

## 推進方策 3. 学校における安全に関する教育の充実

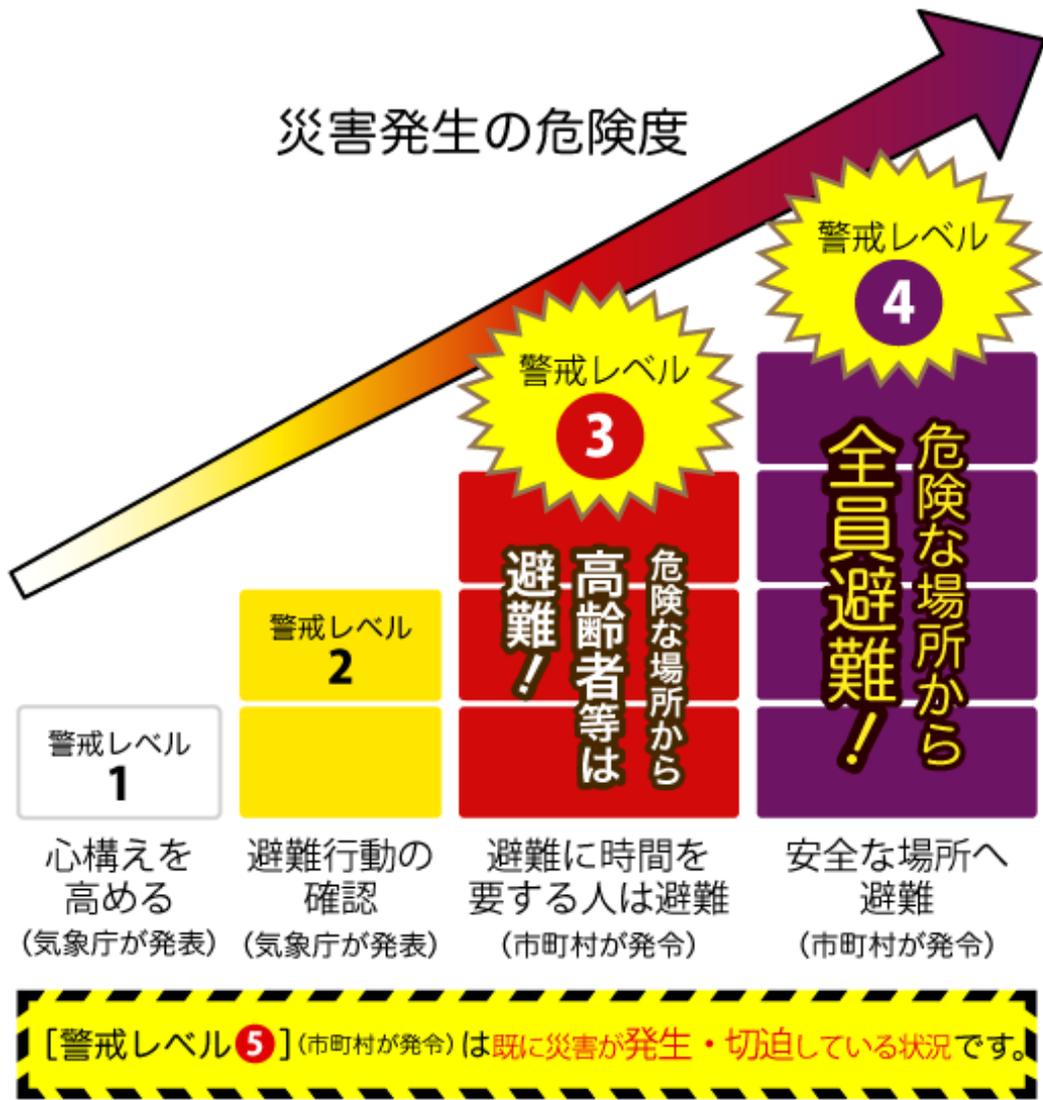
- 児童生徒等が危険を予測し、回避する能力を育成する安全教育の充実、指導時間の確保、学校における教育手法の改善
- 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実、関係機関（消防団等）との連携の強化
- 幼児期、特別支援学校における安全教育の好事例等の収集
- ネット上の有害情報対策（SNSに起因する被害）、性犯罪・性暴力対策（生命（いのち）の安全教育）など、現代的課題に関する教育内容について、学校安全計画への位置付けを推進

## 推進方策 4. 学校における安全管理の取組の充実

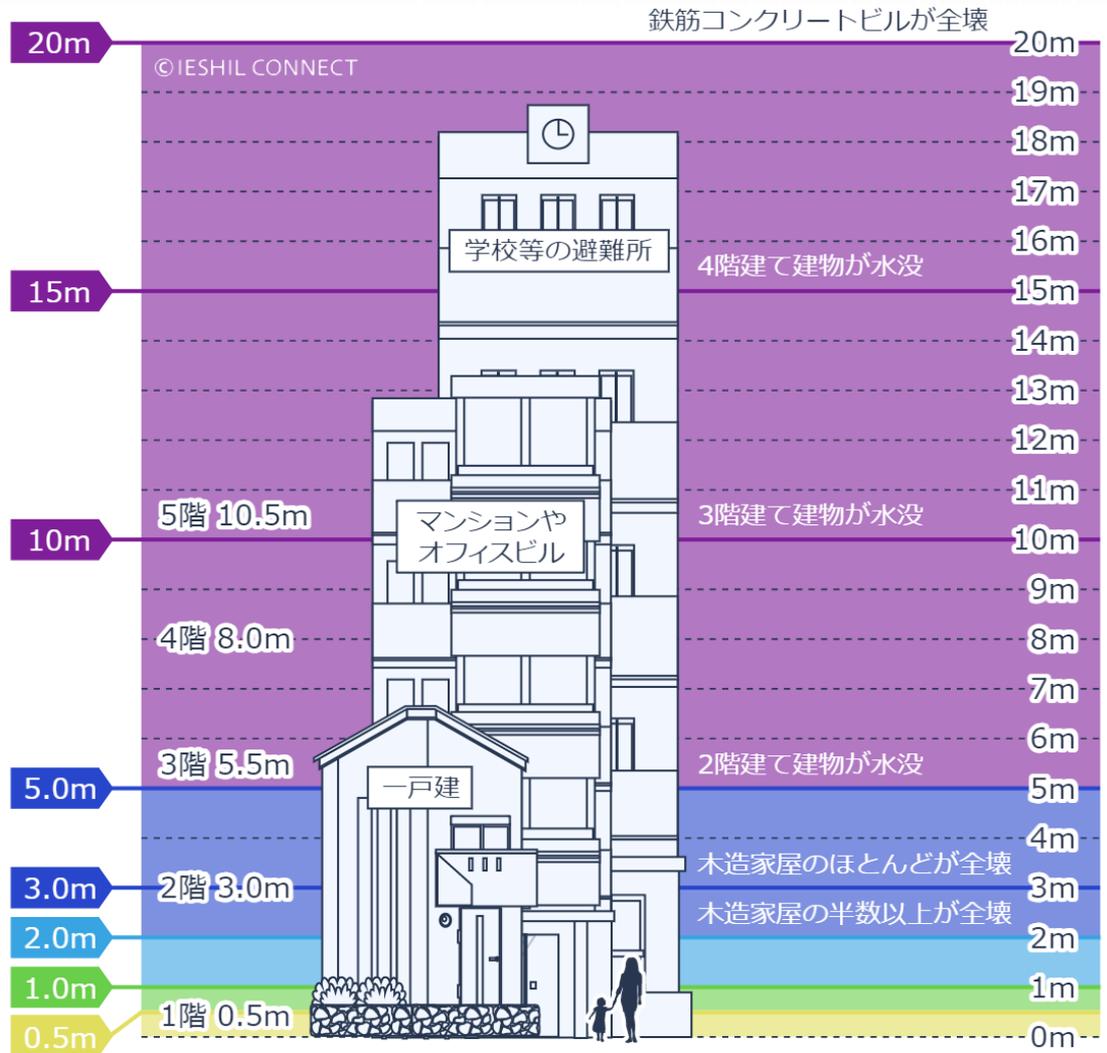
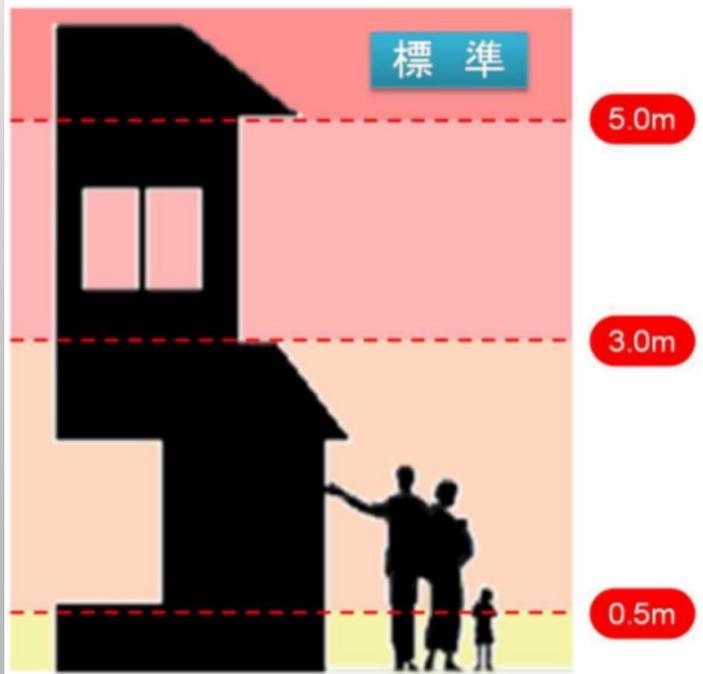
- 学校における安全点検に関する手法の改善（判断基準の明確化、子供の視点を加える等）、学校設置者による点検・対策の強化（専門家との連携等）
- 学校施設の老朽化対策、非構造部材の耐震対策、防災機能の整備の推進
- 重大事故の予防のためのヒヤリハット事例の活用
- 学校管理下において発生した事故等の検証と再発防止等（学校事故対応に関する指針の内容の改訂に関する検討）

## 推進方策 5. 学校安全の推進方策に関する横断的な事項等

- 学校安全に係る情報の見える化、共有、活用の推進（調査項目、調査方法の見直し等）
- 災害共済給付に関するデータ等を活用した啓発資料の周知・効果的な活用
- 設置主体（国立・公立・私立）に関わらない、学校安全に関する研修等の情報・機会の提供
- AIやデジタル技術を活用した、科学的なアプローチによる事故予防に関する取組の推進
- 学校安全を意識化する機会の設定の推進（各学校の教職員等の意識を高める日・週間の設定等）
- 国の学校安全に関する施策のフォローアップの実施



浸水深等	RGB (標準)
20m ~	220,122,220
10m ~ 20m	242,133,201
5m ~ 10m	255,145,145
3m ~ 5m	255,183,183
0.5m ~ 3m	255,216,192
~ 0.5m	247,245,169



#### 避難行動

- 8.0m 避難勧告等が発令されたら速やかに避難が必要です。
- 5.0m 水が引くのに時間がかかることが想定されます、事前に安全な場所へ退避が必要です。
- 1.0m 2階以上への退避が必要、屋外にいるほとんどの人が亡くなります。
- 0.3~0.5m 退避行動が取れなくなります。
- 0.1~0.3m 氾濫時は大人でも避難が困難です。



1mの浸水⇒「写真」がわかりやすい

平成27年9月10日関東・東北豪雨 常総市

【無断複製厳禁】

一般社団法人福祉防災コミュニティ協会



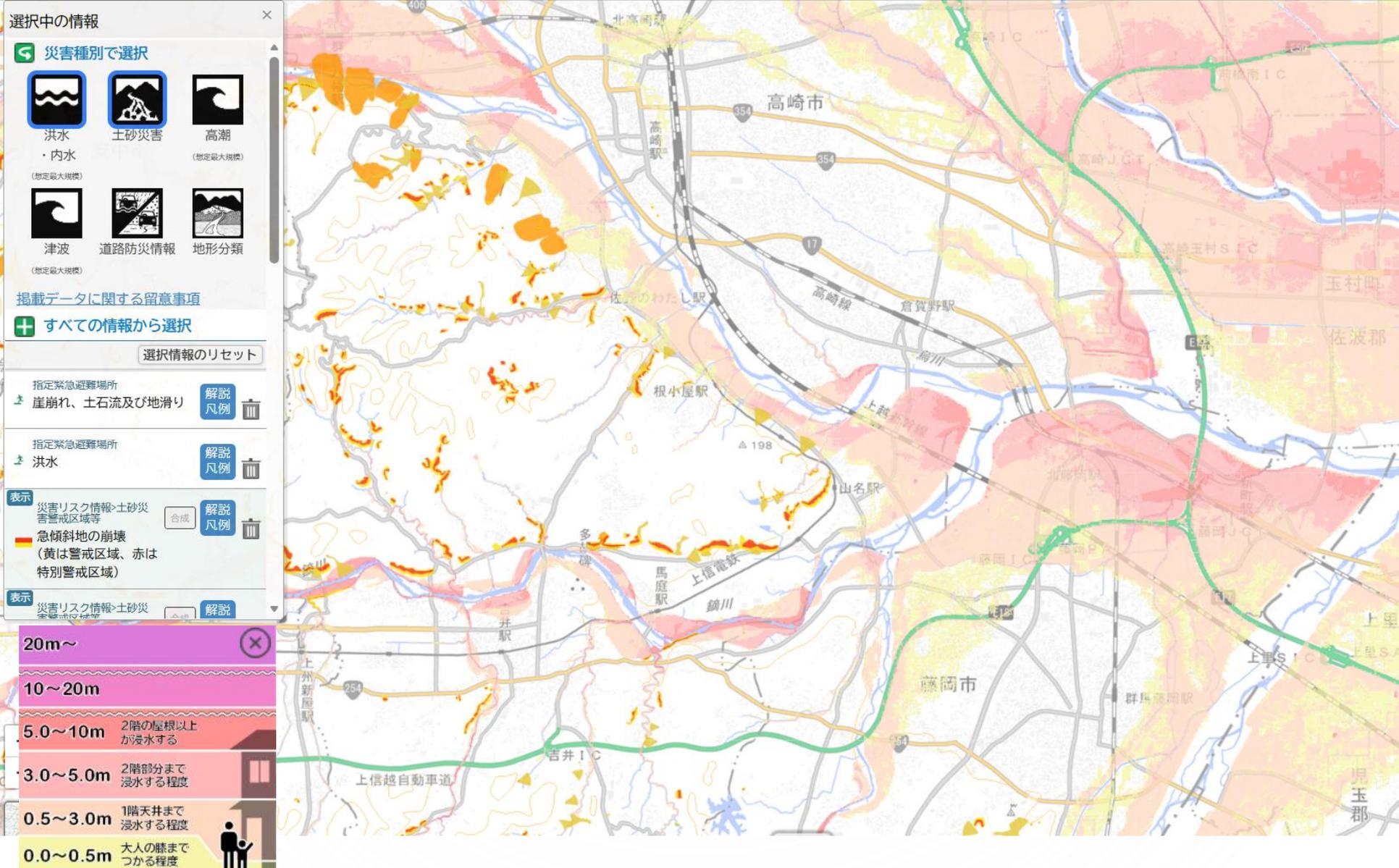
30cmの浸水⇒「写真」がわかりやすい

平成27年9月10日関東・東北豪雨 常総市

【無断複製厳禁】 一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

# 学校ー自宅のハザード(洪水・土砂)

出典:重ねるハザードマップ



# 南海トラフ地震 30年以内60~90%以上

出典：毎日新聞9月26日

## 主な海溝型地震の 30年以内の発生確率

※地震調査研究推進本部の  
長期評価を基に作成。  
2025年1月時点

日本海東縁部・  
佐渡島北方沖  
(M7.8程度)  
3~6%

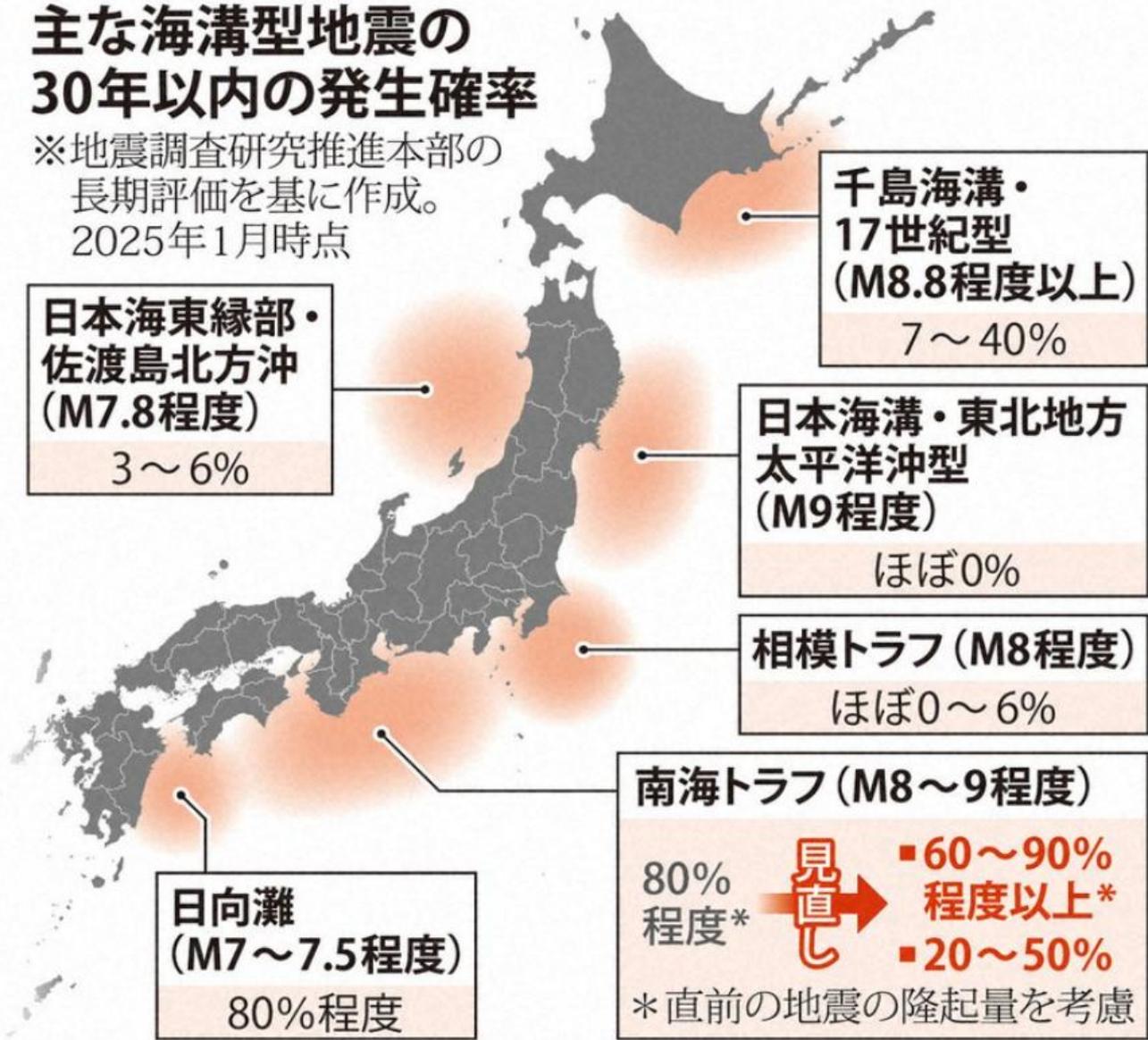
千島海溝・  
17世紀型  
(M8.8程度以上)  
7~40%

日本海溝・東北地方  
太平洋沖型  
(M9程度)  
ほぼ0%

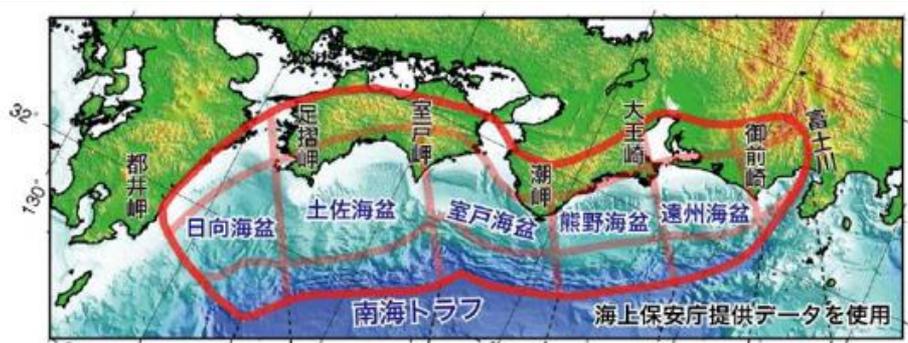
相模トラフ(M8程度)  
ほぼ0~6%

日向灘  
(M7~7.5程度)  
80%程度

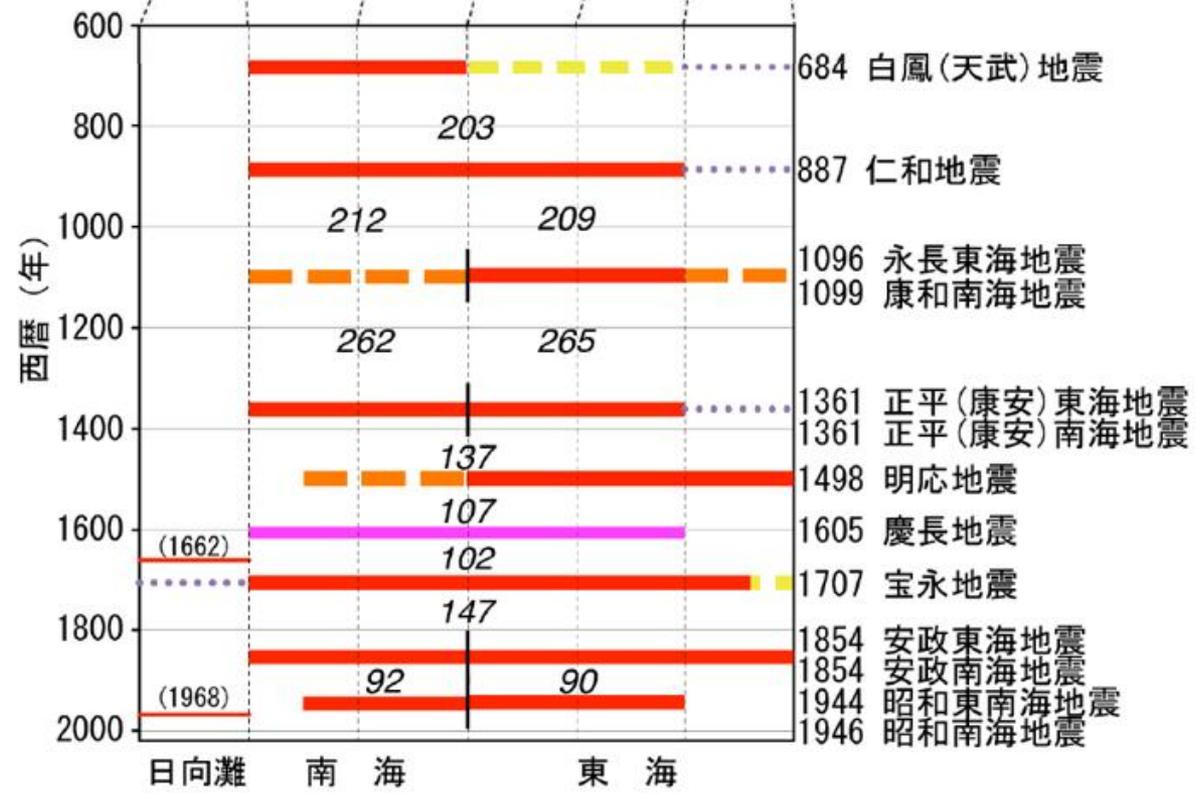
南海トラフ(M8~9程度)  
80%程度\*  **60~90%  
程度以上\***  
**20~50%**  
\*直前の地震の隆起量を考慮



# 過去に発生した南海トラフ地震



- 確実な震源域
- 確実視されている震源域
- 可能性のある震源域
- ⋯ 説がある震源域
- 津波地震の可能性が高い地震
- 日向灘のプレート間地震(M7クラス)

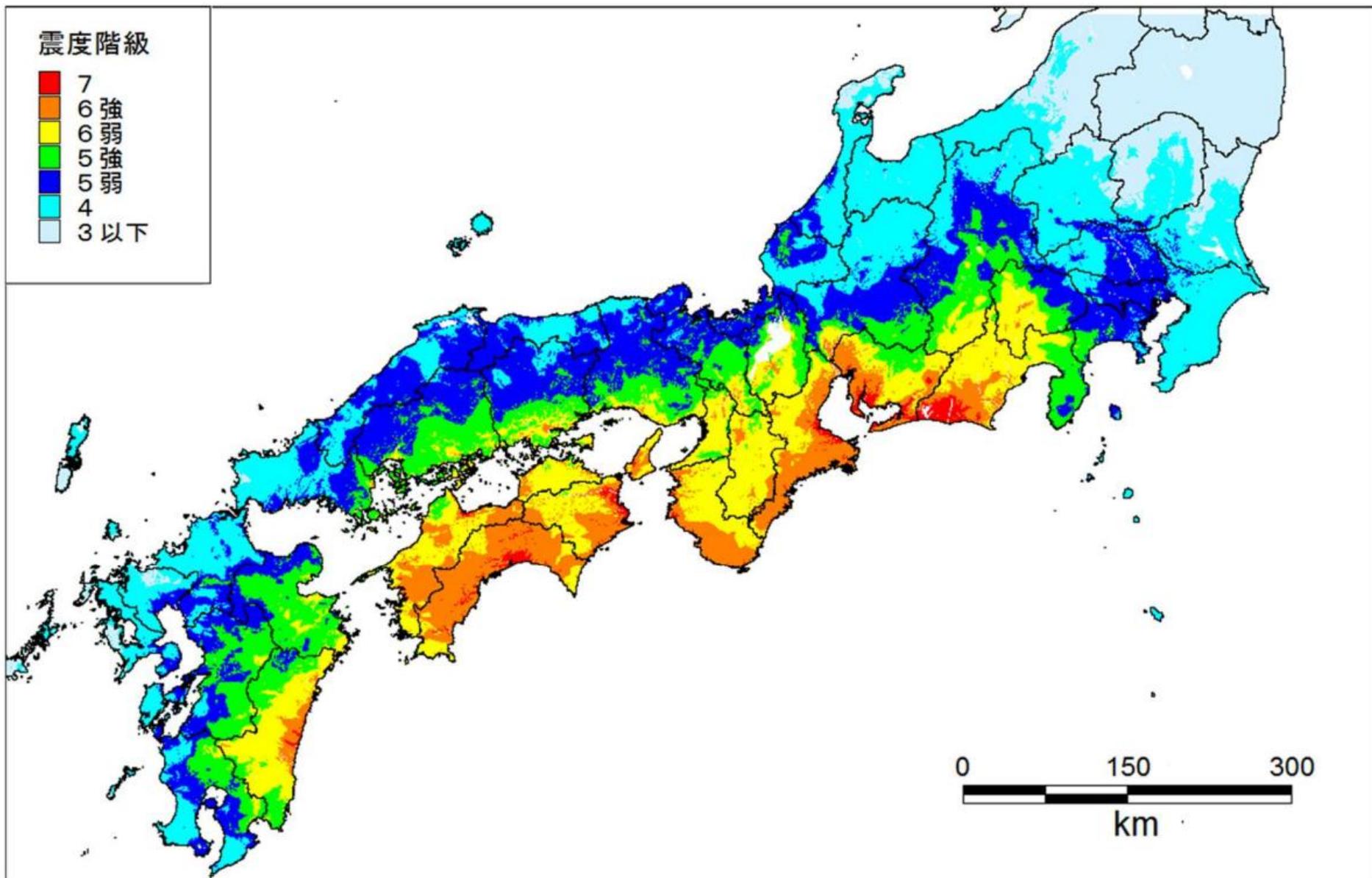


気象庁ホームページより  
抜粋作成

# 南海トラフ巨大地震被害の想定(内閣府 2013)

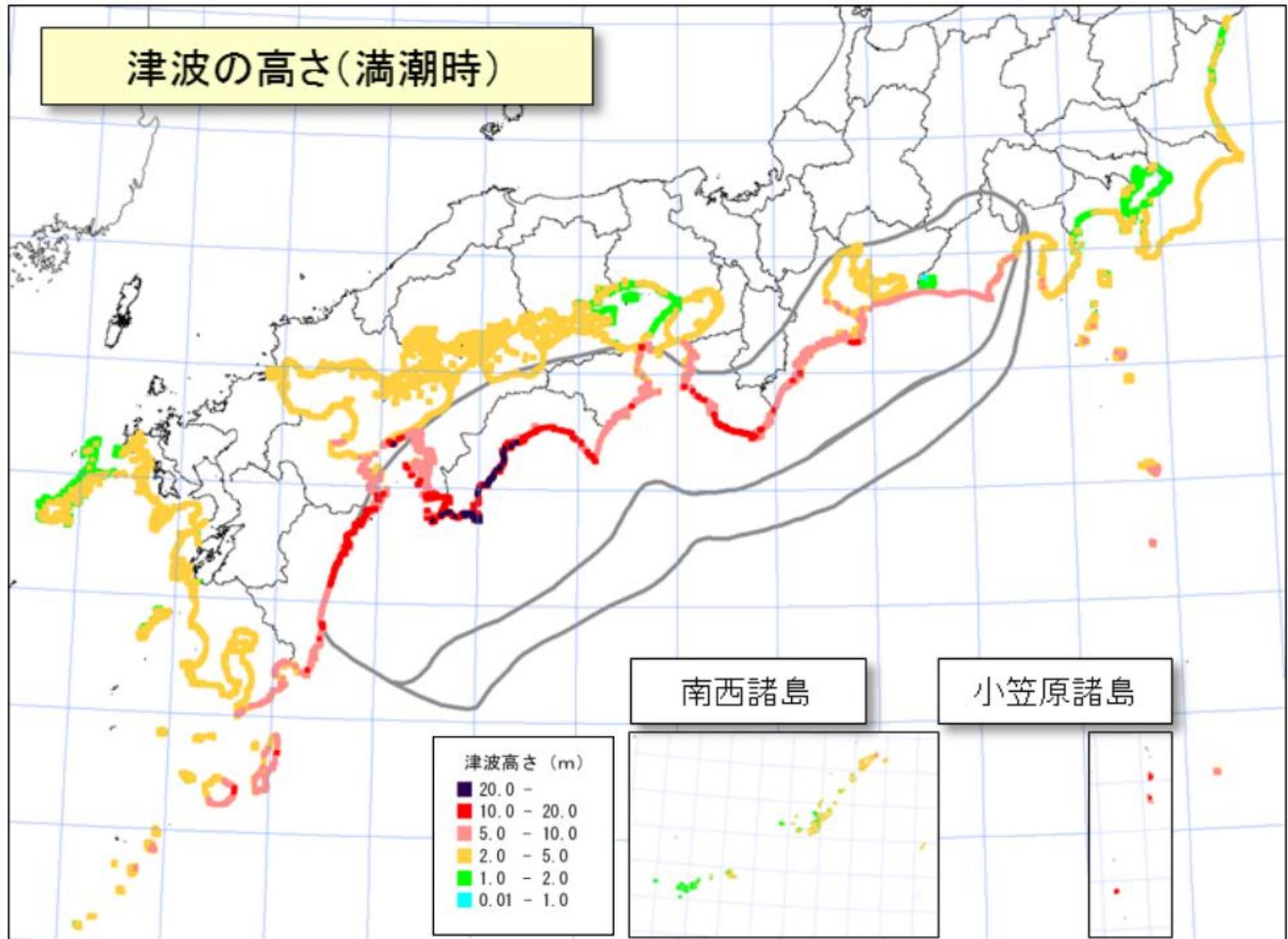
## 陸側ケースの深度分布

震度階級



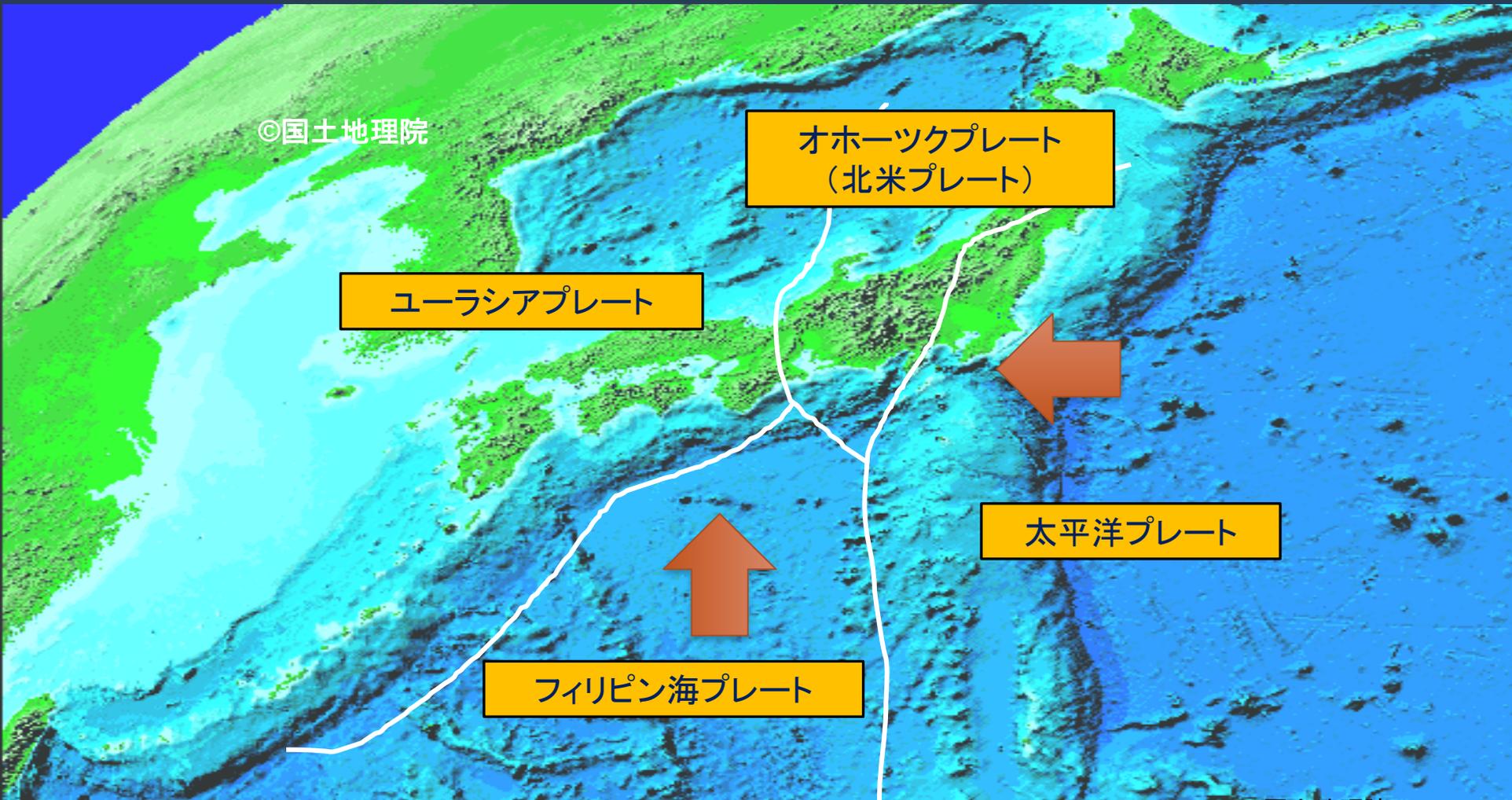
# 南海トラフ巨大地震被害の想定(内閣府 2013)

## 津波高分布図(四国沖～九州沖に大すべり域を設定)



# 日本周辺のプレートの動き

(実際の動きを60万倍に拡大)



©国土地理院

オホーツクプレート  
(北米プレート)

ユーラシアプレート

太平洋プレート

フィリピン海プレート

日本で1日に起きる地震の数: 約300個(無感地震も合わせた数)  
⇒ 5分に1回発生

©国土地理院

電子基準点

距離 200 km

変動 50 cm<sup>68</sup>

40万倍誇張

電子基準点の観測データから推測した水平変動量を誇張して表現しているため細部は正確ではありません。  
海底地形データはETOPO2(NGDC)を使用しています。 国土地理院 <http://mekira.gsi.go.jp/>

# プレート境界の地震と内陸部の直下型地震

## 【地震の活動期】

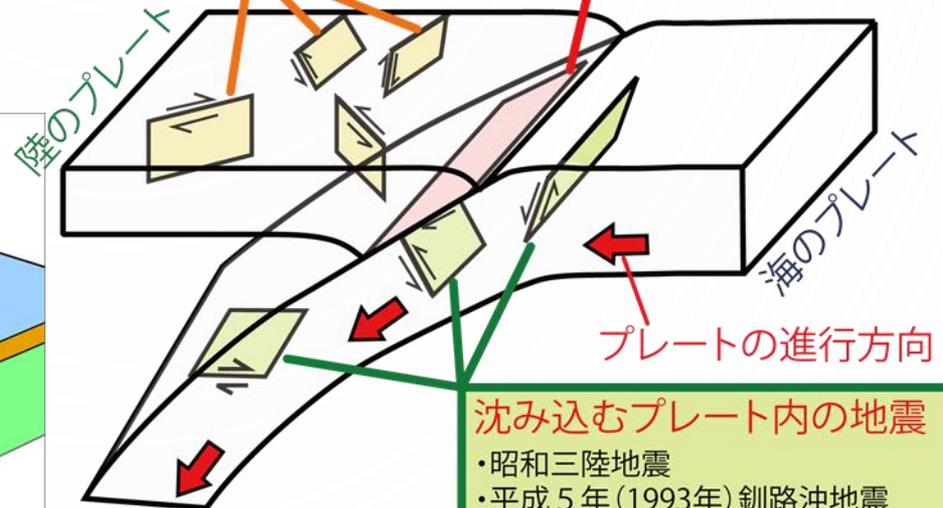
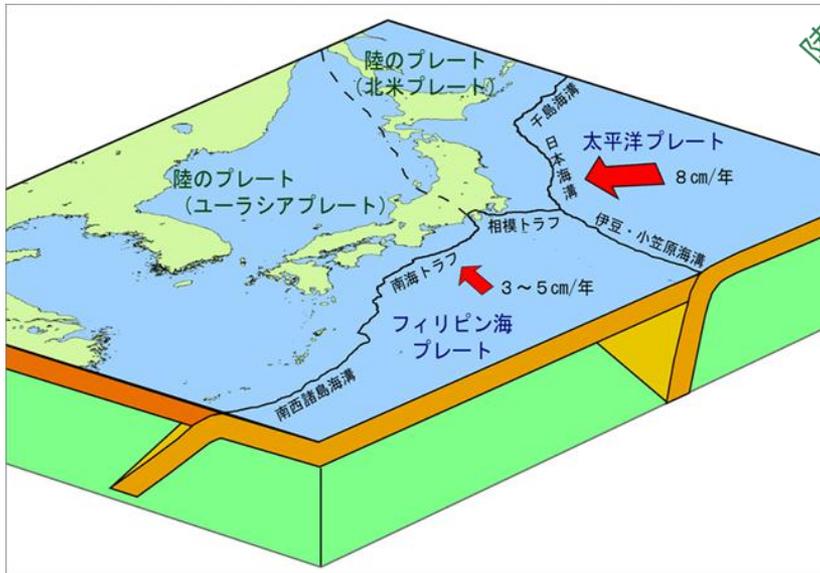
- ・プレート同士の歪が溜まると内陸部での地震が増える
- ・プレート境界地震の前後に、火山噴火(富士山、阿蘇山など)が起こる場合が多い

## 陸域の浅い地震

- ・平成7年(1995年)兵庫県南部地震
- ・平成16年(2004年)新潟県中越地震
- ・平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震
- ・平成28年(2016年)熊本地震など

## プレート境界の地震

- ・南海地震
- ・東南海地震
- ・平成15年(2003年)十勝沖地震
- ・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震 など

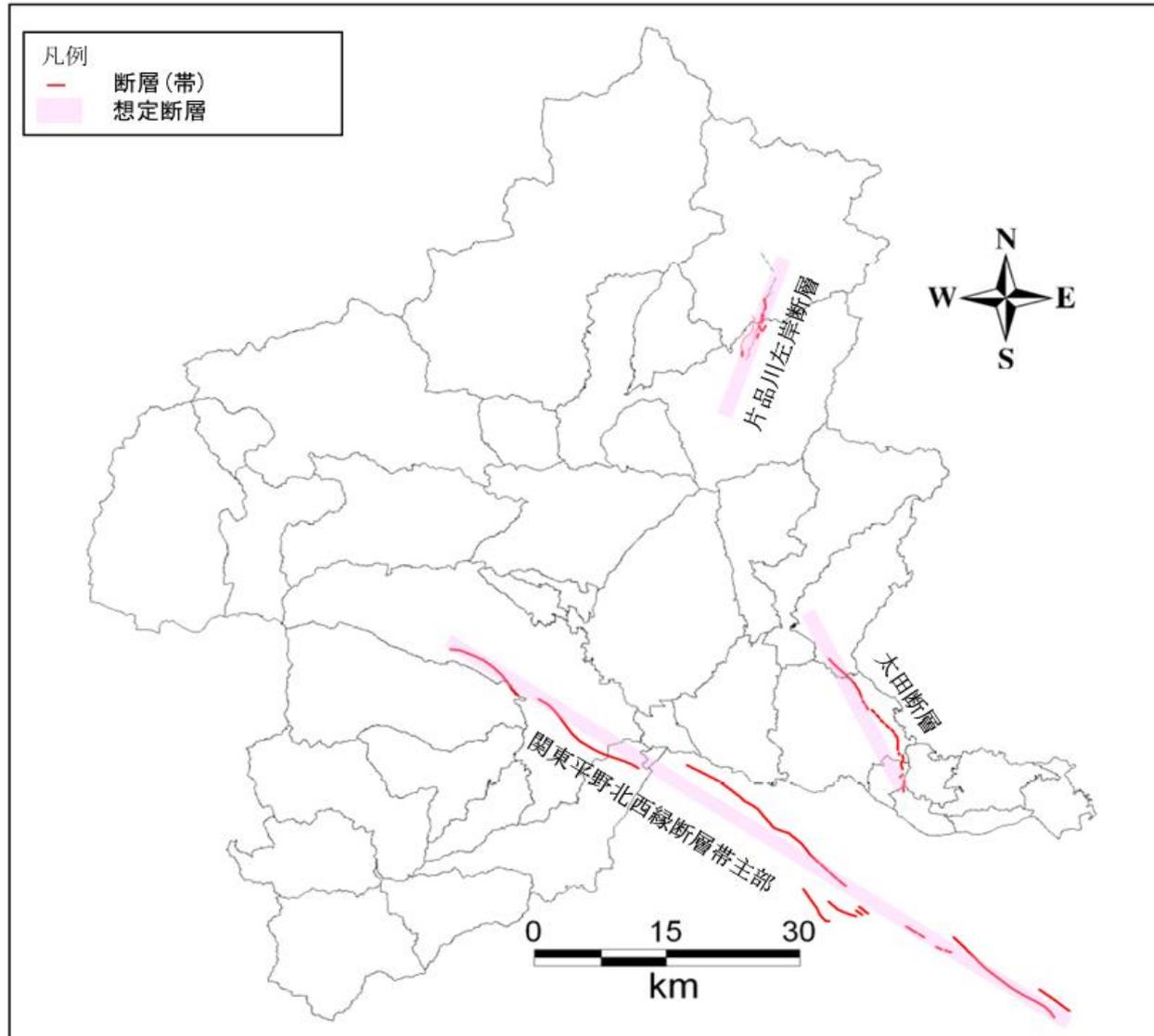


## 沈み込むプレート内の地震

- ・昭和三陸地震
- ・平成5年(1993年)釧路沖地震
- ・平成6年(1994年)北海道東方沖地震など

# 群馬県の地震被害想定調査結果

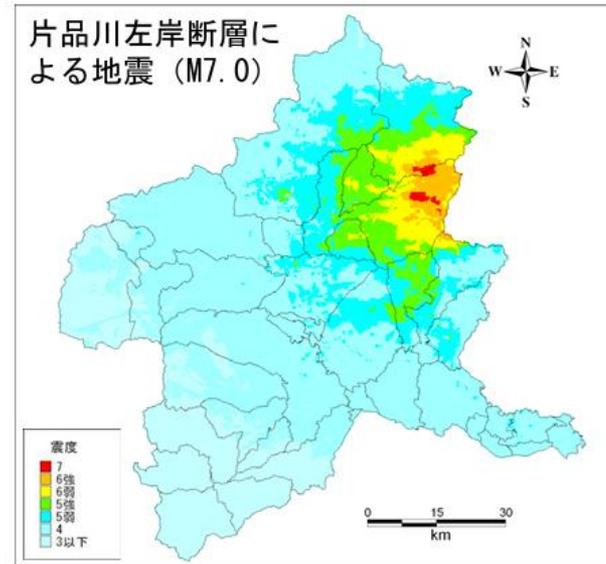
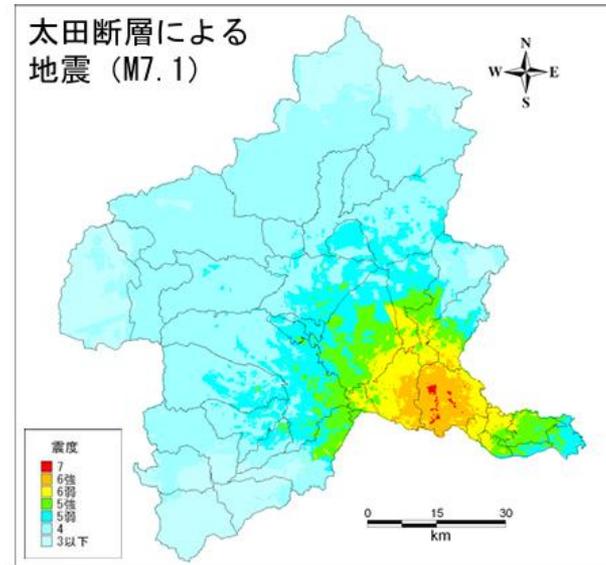
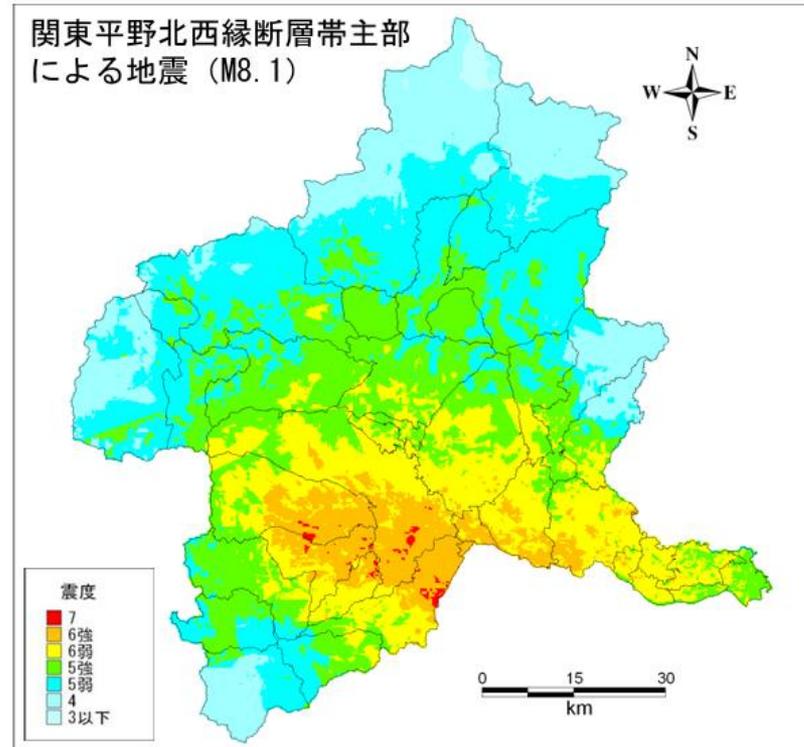
出典:群馬県HP



# 群馬県の地震被害想定調査結果

出典:群馬県HP

## 震度分布図



# 群馬県の地震被害想定調査結果

出典：群馬県HP

冬の朝5時、 風速9m/秒の場合		関東平野北西 縁断層帯主部 による地震 (M8.1)	太田断層 による地震 (M7.1)	片品川左岸 断層による 地震(M7.0)	<前回調査> 群馬県南東部 地震(M7.0/夜間)	
人的被害	死者	約3,130人	約1,130人	約20人	約1,070人	
	原因別	揺れ	約2,890人	約1,100人	若干人	—
		火災	若干人	若干人	一人	—
		その他*	約240人	約30人	約20人	(考慮せず)
	負傷者	約17,740人	約7,880人	約90人	約42,800人 (重軽傷者)	
	原因別	揺れ	約17,310人	約7,780人	約60人	—
		火災	約90人	約20人	一人	—
その他*		約340人	約80人	約30人	(考慮せず)	
建物被害	全壊・全焼棟数(重複除く)	約60,460棟	約22,280棟	約340棟	約74,000棟 (重複不明)	
	原因別	揺れ・液状化・急傾斜	約59,050棟	約21,900棟	約340棟	約71,000棟 (大破)
		火災	約1,410棟	約380棟	一棟	約3,000棟
避難者の発生(ピーク:1日後) ※冬の18時(風速9m/秒)の場合		約54万人	約19万人	約770人	約18万人 (時間変化考慮せず)	

\*その他：急傾斜地崩壊（がけ崩れなど）やブロック塀等の転倒、屋外落下物による。

# 胆振東部地震 揺れによる土砂災害

出典：北海道胆振東部地震 発生当時の写真まとめ 毎日新聞



# 大災害は忘れない頃にやってくる！

## 貞観の時代

- ・863年、越中・越後で大地震(北陸)
  - ・864年、富士山や阿蘇山が噴火
  - ・868年、播磨・山城で大地震(関西)
  - ・869年、M8以上の貞観地震(東北)
- その後、肥後、出雲、京都、千葉で地震
- ・878年、南関東でM7.4の直下地震
  - ・887年、M8以上の東海・東南海・南海の三連動地震

この間は25年

# 東日本大震災仙台市のマンション(震度6弱)

1000年後に残  
報道映像2011

M9“観測史上最大”の地震  
3.11 日本が揺れた6分間



2 2009/02/06 15:06:36



# 地震の場合(平日)

1. 学校施設、設備の安全確認
2. 児童生徒、教職員等の安否確認
3. 災害時緊急メールの発信
4. (通学ルート of 安全確認まで)校内待機・お迎えも待機
5. 福祉避難所の開設(自動開設)
6. 保護者との引継ぎ
7. 福祉避難所の閉所(最後の児童生徒の避難先への移動後)

# 地震の場合(夜間等)

1. 自宅等での安全確保
2. 福祉避難所の開設(通学ルート安全確認後に管理職等は参集)
3. 福祉避難所の開設連絡(緊急メール、HP、市の広報など)
4. 福祉避難所の運営(管理職→保護者等へシフト)
5. 福祉避難所の閉所(最後の児童生徒の生活再建先への移動後)

# 福祉避難所の事前準備

- 校区内の全ての市町村と協定
- 群馬県教育委員会と事前にマニュアル、請求書等様式の整備
- 特別支援BCPの策定(福祉避難所開設運営を災害時優先業務とする)
- 学校への避難者数の調査
- 福祉避難所開設運営図上訓練
- 福祉避難所開設運営訓練(実働)
- 特別支援BCP、マニュアルの更新

# 保護者が事前に準備すること

1. 被災する覚悟を決めて、まずは家の耐震と家具固定(整理整頓)
2. 薬、特別食などを1週間～3週間準備する(自分の分も！！)
3. PTAでの連絡体制(SNS)と練習
4. 学校への避難の意思表示
5. 学校防災マニュアルを熟読！
6. 個別避難計画をつくる→卒業後への備え

大切なことは、  
支援が必要な人も  
支援をする人も  
一緒に助かること

# 親の会による「個別ひなん計画フォーム作り」 ニックネーム・避難場所・声掛けのセリフ

社会福祉法人 すずめ福祉会 すずめ共同作業所	
ニックネーム (名前)	ゆき
携帯品 <small>※一緒に持ち出すもの</small>	
避難場所 ①	クンパル屋上
避難場所 ②	ちより街テラス
声かけ <small>※避難時に呼びかけてください</small>	ゆきさん！いっしょに逃げよう！
支援内容	一緒に手をつないで歩いてください
注意！ <small>・避難時に注意すること ・アレルギーマスク等</small>	足元が見えないため 階段（特に下り）が苦手
<small>※安全な場所にきましたら、裏面もご覧ください。個別の注意事項があります。</small>	

# 親の会による「個別ひなん計画フォーム作り」 地域の支援者が支援しやすいフォームに



いつも身に付けて、もしもに備える！

# おすすめ共同作業所SOSカード

避難の際に呼びかけ、お手伝いをお願いします

ゆき  
さん！



いっしょに  
逃げよう！

<どこへ？>

クンペル  
屋上



名前をよび手をつないで  
ゆっくり歩いてください

<持っていくもの>

<注意> 足元が見えにくいのため  
「段差があるよ」の声かけを  
してください

# 個別ひなん計画の作成手順

1. 自宅のハザードを知る（水害・耐震）
2. 避難生活に必要なことを知る
3. 自分に合った避難先を決める（複数）
4. 避難先までのルートを決める（複数）
5. 自分の避難ルールを決める
  - ・いつ避難を開始する？
  - ・どのような手段で避難する？
  - ・誰と避難する？→**みんなと一緒に！！**
  - ・どのような支援が必要ですか？

**互いに気遣いあえる「つながり」をつくる**

# ひなんさんぽでつながりづくり

男鹿市五里合 20250529



# 府立西淀川支援学校での海溝型地震の揺れへの対策



地震対策として手すりに留められた車椅子  
出典:大阪府立西淀川支援学校 2024年湯井撮影



手すりには常に固定用のひもを常設



地震対策として常に廊下を整理整頓

# 津波発生時は自分の安全を第一に！ 学校には向かわない！！

## 東日本大震災時の保育園の例

「東日本大震災時、保育中に犠牲になった保育園児は3人。一方で保護者への引き渡し後に犠牲になった園児の数は3県(岩手県、宮城県、福島県)で120人(休みで自宅にいた園児も含む)いた。しかし、津波時の園児の引き渡しについては、国で統一した定めがなく、震災後も検討されていない。

出典:朝日新聞記事(2019年3月11日)」

**居宅のハザード、避難ルート、避難場所(ハザード)の確認なしに、保護者に引き継ぐのはとても危険！！**

写真で管理！

※引き渡し計画の記載事項例

ハザードの確認！

災害時引取り人 (児童生徒を迎えに来る方 保護者以外の方も含む)	引取り人名前		続柄	避難先 (小学校地区)	
	①			I:	
	②			II:	
	③			III:	

# 個別の教育支援計画策定プロセス(防災教育)

## 卒業後の本番に備える防災学習！

- ・ 継続的な更新
- ・ 卒業後にも展開  
(サポートブック)

### 計画の素案作り

対象児童生徒等の日頃の様子や特性、生活上の留意点などをよく知る保護者が、学習上の目標と生活に関する特性をまとめる。

- ・ 自宅周辺ハザード確認
- ・ 避難所(福祉避難所など)、避難ルートの確認
- ・ 家庭と学校で防災上の課題の共有

### 評価の共有

一年間の学校と家庭での実践の結果を児童生徒等、保護者、担任教師により評価を行う。  
目標達成できなかった項目など、次年度以降への引継ぎ事項となる。



### 三者面談での確認

保護者が作成した素案をもとに、対象児童生徒等と保護者、担任教師による面談を行う。  
担任教師は面談結果をもとに、指導計画を作成する。

- ・ 学校防災体制(福祉避難所)の整備(簡易ベッド、電源など)
- ・ 支援者との関係構築
- ・ 実動訓練、対応訓練等

### 学校と家庭での実践

指導計画をもとに、学習目標を達成するために、学校と家庭で各教科における特別支援教育が実践される。

- ・ 防災教育目標の設定
  - ・ 防災訓練メニュー設定
  - ・ 災害時支援内容の確認
- = 個別避難計画づくりの練習**

# 令和6年度学校防災アドバイザー派遣事業(府立中津支援学校) 2024.10.29 クロスロード研修(公開)



## 《クロスロードのオリジナルお題:避難所運営》

- 地震により生徒と教員が数名亡くなりました。校舎は避難者でひしめき合っている状況です。あなたはご遺体のために教室を遺体安置所としますか？
- あなたは避難所の管理者です。避難生活が長引いて、避難所全体でストレスを抱える人が増えてきました。避難者の一人がお酒を入手したのでみんなで飲もうと提案しています。あなたは許可しますか。
- あなたは学校の管理職です。地震発生後、津波警報が発令されています。教職員の数名が、家族が心配なため帰宅したいと訴えています。あなたは教職員を帰宅させますか。



9月9日(水) 16時30分

①教室にいる児童・生徒・先生を書いてください。

欠席・欠勤をしている人も名前を書いて、メモ欄に休みと書いてください。

②けがをしている人がいれば、メモ欄に書いてください

教室名	学部	学年	名前	メモ
小2教室	小	2	山田 尾田 森山 柳本 ふじもと なるせ サマラシム  今川 安井 中島 石塚 水田 黒川 さくらい	足切り35分?  足がが?

※巡回にきた避難係長に渡してください。

\*時間 \_\_\_\_\_ : \_\_\_\_\_  
\*小・中・高・教職・捜索・( \_\_\_\_\_ )より

\*誰が 小・中・高・教職員・( \_\_\_\_\_ )

\*どこで 教室・廊下・トイレ・階段・( \_\_\_\_\_ )

\*ケガ・行方不明・発作(救急搬送 要・不要)・その他

判断係・本部長

これをトランシーバー係へ

連絡済・対応完了・継続→裏へ

メモ欄に書いてください。

メモ

ボンド、テープはるし

名前

学年

学部

ひび

ひび

ひび

ひび

ひび

9日(水)

児童・生徒・先生

している人も

書いて

ください。

いる人が

いれば、

メモ欄に

書いて

ください。



おどき 中心  
H26.5.15  
中コス 羊田

おどき あきと  
H26.5.30  
中コス 池原

かさい ひなな  
H26.8.3  
新水コス美加の台

# 大阪府立富田林支援学校公開訓練 2024.12.5 災害対策本部設営風景



寺

和ノ柳屋

10.17  
伊賀屋  
中庭

10.19  
花園堂

高全  
2次した  
体育館  
10:32  
36

10.16  
水鏡

10.16  
水鏡

令和6年度 高専 実習生名簿

学年	名前	性別	ケガ	結果
1年	上田 健斗	男		
1年	池田 梨紗	女		
1年	川島 一貴	男		
1年	比 奈誠子	女		
1年	山口 真央	女		
1年	高田 清良	男		
1年	池田 美穂	女		
1年	藤田 晴行	男		
1年	藤井 将基	男		
1年	宮家 千尋	女		
2年	若本 登希	男		
2年	久下 達也	男		
2年	高橋 真誠	男		
2年	坂本 遥海	女		
2年	松竹 実緒	女		
2年	藤永 涼太	男		
2年	松本 祥旬	男		
2年	門前 拓和	男		
2年	山田 雄大	男		
2年	坂戸 菜々美	女		
2年	坂田 華音	女		
2年	中野 大晴	男		
2年	永野 蓮	男		
2年	松本 虎次郎	男		
2年	山本 純輔	男		
2年	高野 唯人	男		
3年	村上 真由紀	女		
3年	小島 山 純輝	男		
3年	高木 昌輔	男		
3年	高橋 雄志	男		
3年	別所 悠平	男		
3年	坂元 航大	男		
3年	山本 真輔	男		
3年	吉川 颯史	男		
4年	大和田 一昂	男		
4年	岡藤 孝文	男		
4年	加納 歩夢	女		
4年	北井 美緒	女		
4年	高木 隼彦	男		
4年	藤元 航太	男		
4年	前田 翔	男		
4年	前田 結樹	男		
4年	北村 楓	女		
4年	小笠原 玲奈	女		
4年	清水 健大	男		
4年	田中 由夏	女		
4年	藤井 拓人	男		
4年	中野 悠真	男		
4年	藤野 御堂	女		
4年	藤本 悠真	男		
4年	藤田 健太	男		
4年	山下 悠大	男		
4年	中野 颯史	男		
4年	川崎 雄大	男		
5年	天川 大地	男		
5年	新家 大下 輝	男		
5年	村原 川崎 倫孝	女		
5年	藤田 真子	女		
5年	清水 海陽	男		
5年	高橋 叶子	女		
5年	藤田 香多	女		
5年	北本 望心	女		

令和6年度 高専 実習生名簿

学年	名前	性別	ケガ	結果
1年	池田 梨紗	女		
1年	川島 一貴	男		
1年	比 奈誠子	女		
1年	山口 真央	女		
1年	高田 清良	男		
1年	池田 美穂	女		
1年	藤田 晴行	男		
1年	藤井 将基	男		
1年	宮家 千尋	女		
2年	若本 登希	男		
2年	久下 達也	男		
2年	高橋 真誠	男		
2年	坂本 遥海	女		
2年	松竹 実緒	女		
2年	藤永 涼太	男		
2年	松本 祥旬	男		
2年	門前 拓和	男		
2年	山田 雄大	男		
2年	坂戸 菜々美	女		
2年	坂田 華音	女		
2年	中野 大晴	男		
2年	永野 蓮	男		
2年	松本 虎次郎	男		
2年	山本 純輔	男		
2年	高野 唯人	男		
3年	村上 真由紀	女		
3年	小島 山 純輝	男		
3年	高木 昌輔	男		
3年	高橋 雄志	男		
3年	別所 悠平	男		
3年	坂元 航大	男		
3年	山本 真輔	男		
3年	吉川 颯史	男		
4年	大和田 一昂	男		
4年	岡藤 孝文	男		
4年	加納 歩夢	女		
4年	北井 美緒	女		
4年	高木 隼彦	男		
4年	藤元 航太	男		
4年	山本 真輔	男		
4年	吉川 颯史	男		
5年	天川 大地	男		
5年	新家 大下 輝	男		
5年	村原 川崎 倫孝	女		
5年	藤田 真子	女		
5年	清水 海陽	男		
5年	高橋 叶子	女		
5年	藤田 香多	女		
5年	北本 望心	女		

令和6年11月13日

令和6年度 高専 実習生名簿

学年	名前	性別	ケガ	結果
1年	若本 登希	男		
1年	久下 達也	男		
1年	高橋 真誠	男		
1年	坂本 遥海	女		
1年	松竹 実緒	女		
1年	藤永 涼太	男		
1年	松本 祥旬	男		
1年	門前 拓和	男		
1年	山田 雄大	男		
1年	坂戸 菜々美	女		
1年	坂田 華音	女		
1年	中野 大晴	男		
1年	永野 蓮	男		
1年	松本 虎次郎	男		
1年	山本 純輔	男		
1年	高野 唯人	男		
2年	村上 真由紀	女		
2年	小島 山 純輝	男		
2年	高木 昌輔	男		
2年	高橋 雄志	男		
2年	別所 悠平	男		
2年	坂元 航大	男		
2年	山本 真輔	男		
2年	吉川 颯史	男		
3年	大和田 一昂	男		
3年	岡藤 孝文	男		
3年	加納 歩夢	女		
3年	北井 美緒	女		
3年	高木 隼彦	男		
3年	藤元 航太	男		
3年	山本 真輔	男		
3年	吉川 颯史	男		
4年	天川 大地	男		
4年	新家 大下 輝	男		
4年	村原 川崎 倫孝	女		
4年	藤田 真子	女		
4年	清水 海陽	男		
4年	高橋 叶子	女		
4年	藤田 香多	女		
4年	北本 望心	女		

10.16  
水鏡  
高全  
二次した  
体育館  
TIME!

令和6年度 高専 実習生名簿

令和6年度 高専 実習生名簿

学年	名前	性別	ケガ	結果
1年	佐久間 高翔	男		
1年	高田 健太	男		
1年	比野 颯大	男		
1年	中迫 英志	男		
1年	野中 泰祐	男		
1年	山本 崇史郎	男		
2年	石黒 克也	男		
2年	涌 浩之	男		
2年	中尾 結平	男		
2年	藤中 一也	男		
2年	古澤 希乃花	女		
2年	野田 花穂	女		
2年	山田 瑠璃	女		
2年	山本 清史郎	男		
3年	青谷 隆星	男		
3年	後藤 幹吾	男		
3年	渡野 りん	女		
3年	中嶋 優理愛	女		
3年	山路 廉太郎	男		
3年	山田 瑠璃	女		
3年	山本 清史郎	男		
4年	伊賀野 悠菜	女		
4年	小倉 颯大	男		
4年	園末 健永	男		
4年	富田 優希	男		
4年	深田 江里	女		
4年	藤原 恭	男		
4年	和田 智大	男		
5年	北田 翔大	男		
5年	高橋 朱音	女		
5年	田上 偉大	男		
5年	中村 凉空	男		
5年	濱野 柚奈	女		
5年	村田 健人	男		
6年	乾 直樹	男		
6年	岡田 健吾	男		
6年	岡田 美月	女		
6年	高橋 裕翔	男		
6年	田中 健大	男		
6年	藤田 翔	男		
6年	藤原 佑成	男		

令和6年度 高専 実習生名簿

令和6年度 高専 実習生名簿

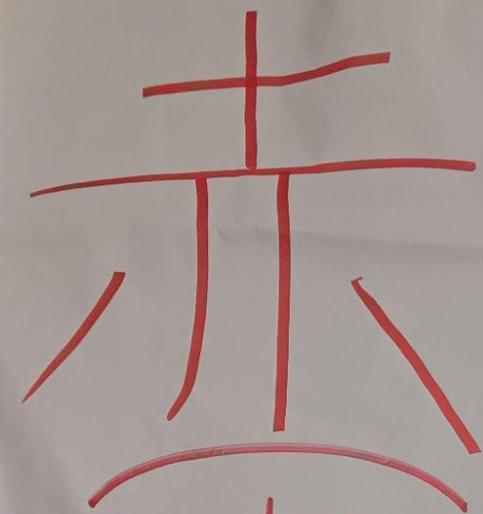
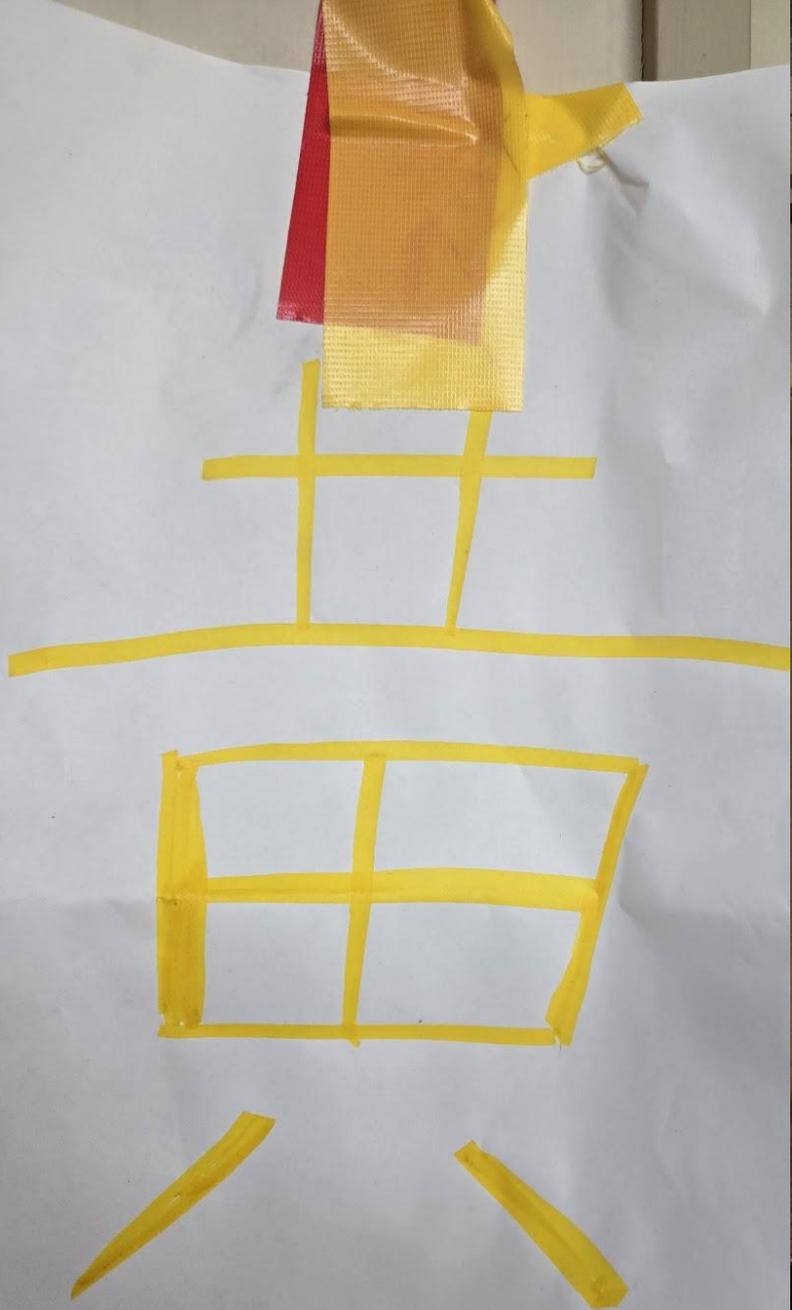
学年	名前	性別	ケガ	結果
1年	池田 梨紗	女		
1年	川合 晴太	男		
1年	北岡 翔生	男		
1年	観山 又三	男		
1年	藤原 才樹	男		
1年	木下 隼斗	男		
1年	一柳 紗世	女		
2年	澤田 拓真	男		
2年	瀧市 結希乃	女		
2年	谷上 昭昭	男		
2年	香山 大河	男		
2年	菱地 将次	男		
3年	奥野 雄翔	男		
3年	加藤 達	男		
3年	久保田 隆永	男		
3年	城山 悠	男		
3年	菅原 恭真	男		
3年	巽 隆一	男		
3年	新 栄華	女		
3年	旗手 優	男		
4年	岡野 暁之	男		
4年	塩崎 花海	女		
4年	原田 海来	男		
4年	藤井 一聖	男		
4年	宮崎 海斗	男		
5年	小山 海星	男		
5年	高田 小嶋坂	女		
5年	藤田 賢人	男		
5年	土屋 亮人	男		
5年	尾尾 輝斗	男		
5年	林 玲奈	女		
6年				

令和6年度 高専 実習生名簿

令和6年度 高専 実習生名簿

学年	名前	性別	ケガ	結果
1年	阿萬 ののか	女		
1年	田村 輝斗	男		
1年	沼田 煌斗	男		
1年	永尾 陽	男		
1年	六田 彩花音	女		
1年	吉田 晃輝	男		
1年	杉岡 健	男		
1年	松山 豊春	男		
2年	佐藤 悠弥	男		
2年	仙入 心乃	女		
2年	谷村 花梨	女		
2年	五垣 颯	男		
2年	林 希晏	男		
2年	水口 拓翔	男		
3年	丸 冬樹	男		
3年	若本 然	男		
3年	川本 優太郎	男		
3年	藤本 杏莉	女		
3年	定井 健和	男		
3年	辻 理華	女		
3年	森田 幸一	男		
3年	花原 那雪	女		
4年	六車 健樹	女		
4年	竹内 来愛	女		
4年	藤谷 祐輝	男		
4年	中村 颯佑	男		
4年	幸田 悠真	男		
4年	吉田 悠音	男		
5年	若中 正義	男		
5年	稲村 海斗	男		
5年	加井 彰博	男		
5年	高田 幸士朗	男		
5年	田上 沙夏	女		
5年	中島 颯叶	男		
5年	藤田 隼介	男		
5年	橋本 悠弥	男		
6年	井谷 彰乃	女		
6年	岡田 和樹	男		
6年	小野 颯	男		
6年	北尾 颯真	男		
6年	野田 健心	男		

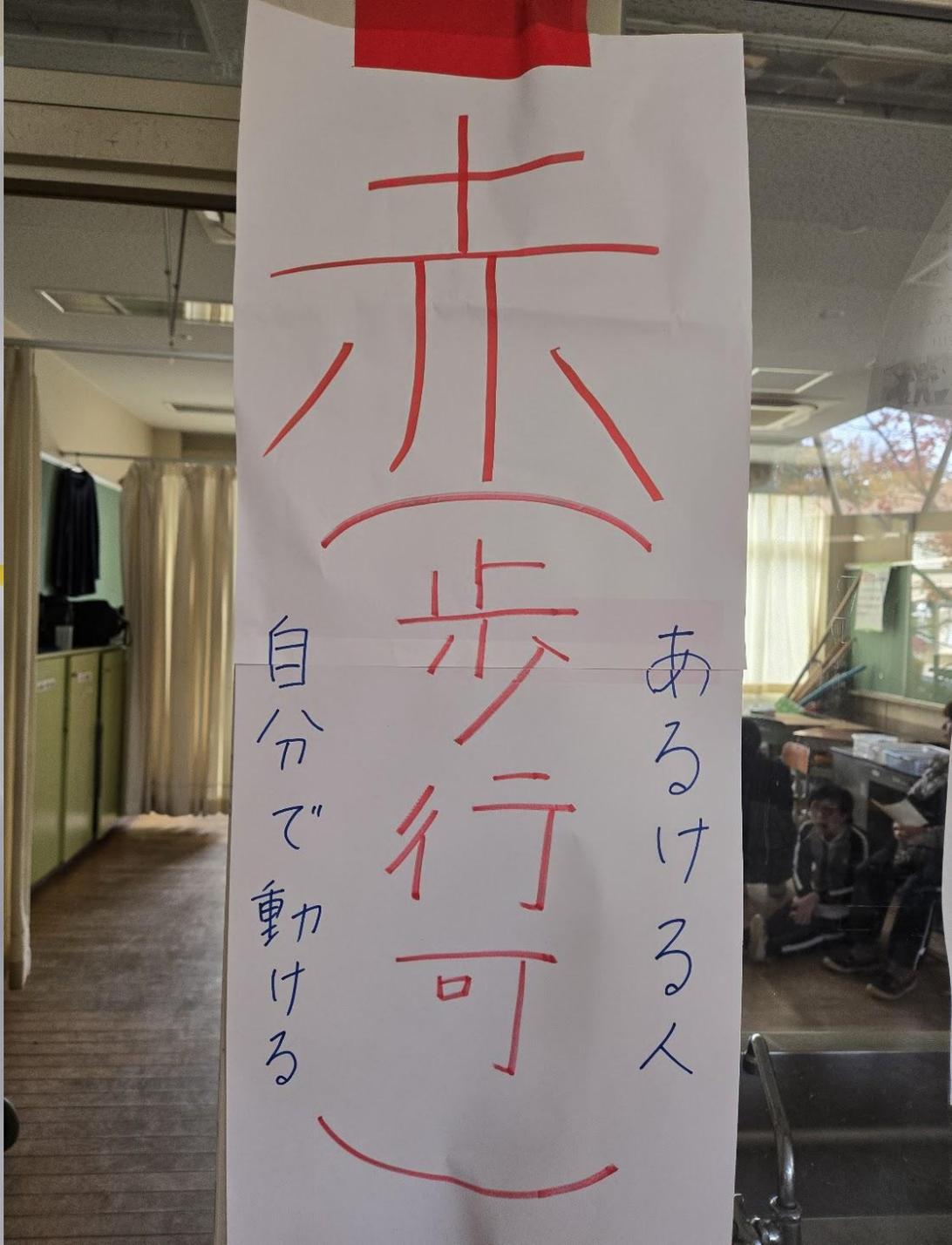




自分で動ける

歩行可

あるける人



# 学校避難所のトリアージ

## 【重症度色分けの手順】

1



① 歩行可能者「緑」を集める

2



① 二人一組になって色分けする  
② 一人は色分けカードに従って緊急度を判断する  
③ もう一人は記録票に記入する

3



① 色分けテープ（長い方）を負傷者の右側（肩や手）に貼付する  
② 記録票を首からかける  
③ テープ（短い方）に負傷者の名前を記入する  
④ 出血があれば圧迫止血をする

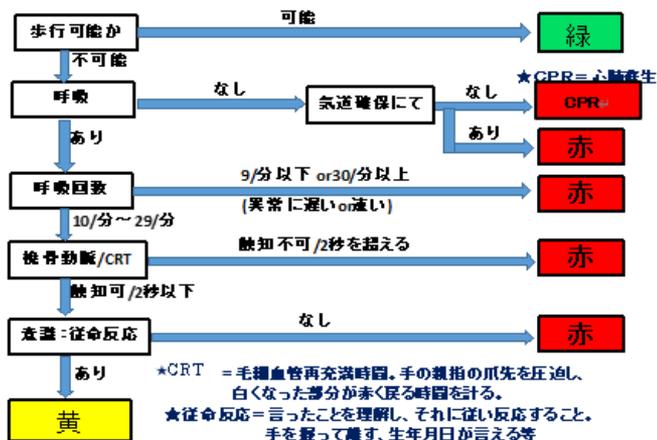
4



① 負傷者の名前を記入したテープ（短い方）を本部に渡して色分け結果を報告する

## 【重症度色分けカード】

### 学校における緊急度判断



引用：学校における緊急・災害時の対応  
<http://emergencyfirstaidinschool.com/>

### 【記録票】

名前： \_\_\_\_\_  
生年月日： \_\_\_\_\_

判定： 緑・黄・赤・CPR  
負傷者の右側（右手・右肩等）に判定した色のテープを貼る

発生原因	時間		
	1回目	2回目	3回目
歩行	可・不可	可・不可	可・不可
呼吸/分	回/分	回/分	回/分
循環 ①の どちらか	① CRT 親指爪を押しつけて何秒 で爪の色が戻るか	2秒以下 2秒を超える	2秒以下 2秒を超える
	② 検骨動脈	触知可・不可	触知可・不可
従命反応 声かけ (手を握って離す等)に 反応するか	あり なし	あり なし	あり なし
判定	緑・黄・赤・CPR	緑・黄・赤・CPR	緑・黄・赤・CPR

前  
後

# 福祉・医療・保健の準備

- **福祉避難所の整備** → 福祉事業所、医療系放課後等デイサービス、クリニック、特別支援学校(肢体不自由児教育校)での福祉避難所の指定
- **福祉(医療)BCPの整備** → 福祉避難所開設運営、訪看による同行避難、電源リレールート of 整備
- **地域連携** → 専門職ではないボランティアができることは？

# AAR: After Action Review

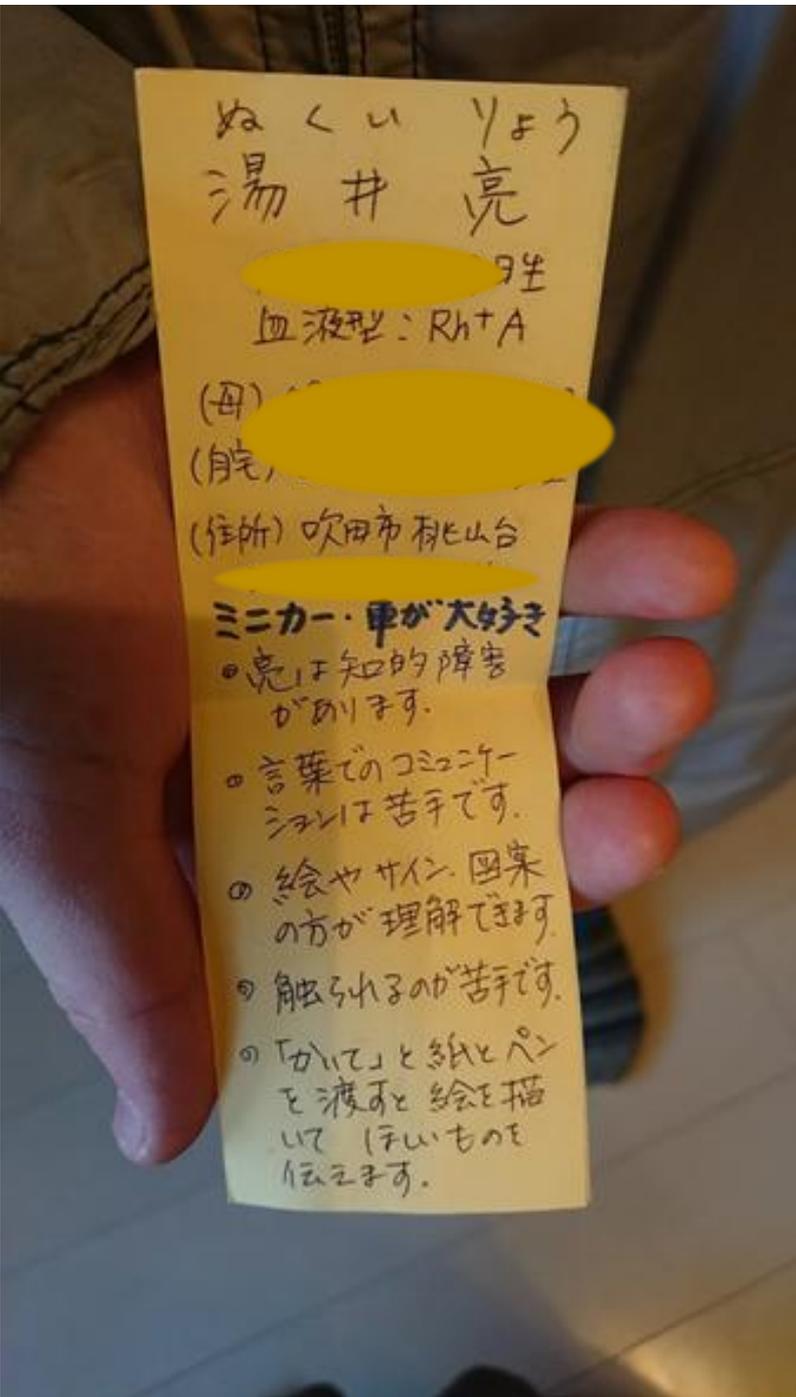
米国陸軍の訓練後の検討のためのフォーム

1. 訓練の目標は何か
2. 実際に何が起こったか
3. どうしてその差(目標との差)が起きたか
4. 次の訓練ではどのように行動するか



行動を分析し、一人ひとりの対応力をあげる





亮の「SOSカード」  
です。

何度かこのカードの  
情報で連絡を頂くこ  
とができました。

- ・名前
- ・保護者の連絡先
- ・住所
- ・血液型
- ・生年月日
- ・自閉症であること
- ・苦手なこと
- ・得意なこと
- ・好きなこと

下記①②③作成などは、書籍を参照してください。

①福祉BCP(兼避難確保計画)

②訓練計画

③福祉避難所マニュアル

現場で使える!

2025年3月 発刊
福祉施設 BCP (事業継続計画) 書籍第4版

# ひな型でつくる福祉BCP

～実効性ある計画と役立つ研修・訓練の手法～

**ご好評をいただいている福祉施設BCP書籍の増補改訂版!**

本書では、災害時においても事業を継続すべく努力されている福祉施設、福祉関係者を支援するため、総合的な「福祉BCP」を作成する助けとなるよう解説しています。また、本書のひな型を使い、施設の実態に合わせて記入することで、無理なく計画が作成できます。

更に今回の改訂では、厚労省の運営基準に義務付けられている職員研修、訓練の内容を新たに追加し、BCPを適切に実行・運用するための効果的な研修と役立つ訓練方法について、福祉施設や特別支援学校で実際に行われている事例を盛り込みました。

福祉事業に従事される皆様の災害への備えに、本書を是非ともお役立てください。

監修・著者 榎屋 一

著者 岡野谷 純、岡橋 生幸、高橋 洋、湯井 恵美子

ISBN：978-4-902042-62-7 / B5版：232頁 / 定価：2,640円(税込)

<p><b>目次</b></p> <p>第1章 BCP (事業継続計画) の運営基準と重要ポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 BCP (事業継続計画) について</li> <li>2 災害リスクを知る</li> <li>3 BCP (事業継続計画) の重要要素一連携一</li> </ol> <p>第2章 「BCP (事業継続計画)」をつくってみよう</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「BCP (事業継続計画)」への取組みの経緯と得られた知見</li> <li>2 「BCP (事業継続計画)」作成・活用の前提</li> <li>3 「BCP (事業継続計画)」作成手順と留意点</li> </ol> <p>第3章 小規模事業所のBCPひな型</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 小規模事業所のBCP作成の前提</li> <li>2 基本方針</li> <li>3 平時から始める対策</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 災害対応</li> <li>5 他施設との連携</li> <li>6 地域との連携</li> </ol> </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小規模事業所のBCP作成の前提</li> <li>2 基本方針</li> <li>3 平時から始める対策</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 災害対応</li> <li>5 他施設との連携</li> <li>6 地域との連携</li> </ol>	<p>第4章 福祉避難所</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 福祉避難所の重要ポイント</li> <li>2 福祉避難所開設・運営マニュアル (例)</li> <li>3 福祉避難所スタートボックス (例)</li> </ol> <p>第5章 効果的な研修と役立つ訓練方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 研修・訓練とは</li> <li>2 研修・訓練の内容</li> </ol> <p>第6章 災害時や後に必要なスキル ～ファーストエイド、ストレス対策、災害支援に行く場合～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ファーストエイド</li> <li>2 災害支援に伴うストレス (惨事ストレス)</li> <li>3 災害支援に行く場合</li> </ol> <p>第7章 資料編</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小規模事業所のBCP作成の前提</li> <li>2 基本方針</li> <li>3 平時から始める対策</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 災害対応</li> <li>5 他施設との連携</li> <li>6 地域との連携</li> </ol>		

▼ 書籍のご購入はこちらから ▼

**公式オンラインショップ**

オンラインショップでのご注文は、二次元コードから専用ページにアクセスしてください。

※配送料は全国一律660円 (税込) となります。ただし、沖縄県は追加料金660円 (税込) がかかります。

※書籍購入代金が5,000円 (税込) 以上の場合は送料無料になります。

公益財団法人東京都福祉保健財団

福祉防災コミュニティ協会

自分たちの自分たちによる自分たちのための  
優しいまちを NOTHING ABOUT US WITHOUT US.



June, 2024 RYO